

令和6年度第1回袖ヶ浦市立図書館協議会

1 開催日時 令和6年7月22日（月）午後2時開会

2 開催場所 中央図書館 2階 視聴覚ホール

3 出席委員

委員長	吉村 真理子	副委員長	星野 裕司
委員	粕谷 久恵	委員	三神 亜矢子
委員	菊地 育子	委員	小林 君代
委員	石井 喜三江	委員	高橋 和子
委員	宮越 賢子	委員	武井 隆文

3分の2以上の委員が出席であり、袖ヶ浦市立図書館協議会運営規則第3条第2項により本協議会は成立とする。

4 出席職員

教育長	鶴田 道雄	生涯学習課長	重田 克己
中央図書館長	塩谷 利之	長浦おかのうえ 図書館長	堀野 仁美
平川図書館長	齊藤 秀夫	中央図書館 奉仕班長	相武 麻衣子
中央図書館 庶務班長	芦田 敏宏	中央図書館 主任主事	綿貫 彩香

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	3人
傍聴人数	0人

6 議 題

- (1) 令和5年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価について
(第2回)
- (2) 平川図書館の閉館時間について
- (3) その他

7 報 告

- (1) 令和6年度図書館経営方針及び重点施策について
- (2) 令和6年度こどもの読書週間記念行事の実施結果について
- (3) その他

図書館・電子図書館利用者アンケートについて
電算システム更新について

8 議 事

吉村委員長：それではまず、議題（1）令和5年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価（第2回）について、事務局から説明をお願いします。

事務局（堀野館長）：資料をもとに説明。

吉村委員長：それでは議題（1）につきまして、2つに区切って質疑等を求めたいと思います。まずは資料2～5ページまでの評価方法、総括等につきましてご意見、質疑等ございますか。

吉村委員長：では、最初は私の方からよろしいでしょうか。先ほどご説明にあった資料4ページの年間レファレンス処理件数が、昨年度△だったものが◎になっています。その理由が、資料5ページにありまして、コロナの5類移行もあり、非常に積極的な声かけをされているということで、名札にも声かけの積極的なメッセージがあり、そういったことが一つあるだけで、かなり利用者の方も声かけがしやすいように思います。

宮越委員：私もこちらの項目を嬉しく思います。昨年度、私がコロナ禍も落ち着いてきたので、このような取り組みをしたらどうでしょうかと提案したことを反映していただいたこともあるのかなと思い嬉しく思っています。やはりお子さん方の調べ学習の問い合わせが増えた実感はありますか。

事務局（相武班長）：1年前の図書館協議会で宮越委員から、レファレンスカウンターで子どもが調べ学習について協力してもらいたいが、声がかげづらいというお声をいただきまして、カフェボードに「宿題を応援するのでぜひ声をかけてください」と書いたり、ポスターを作成したりということを全館で行いまして、お子さんからのレファレンスが増えた印象です。どの館でも夏休みを中心として、調べ学習の問い合わせの件数はかなり増えた印象を持っています。

宮越委員：読書好きの親子としては、この時期だけではなくて、いつでも図書館で調べ物の問い合わせができたらいと思います。夏休みに宿題をこなすための質問をしに行く方をよく見かけますが、普段から本に親しむ機会が増えると嬉しいなと思いつつも、もう一つの課題なのかなと図書館に通いながら思っているところです。

吉村委員長：他にはいかがでしょうか。

武井委員：資料の見方について、資料4ページの袖ヶ浦市関係郷土行政資料の年間受入冊数で、実際には紙で印刷しないでデータになっているものについて受入冊数は分かれていますか。

事務局（堀野館長）：袖ヶ浦市関係郷土行政資料の受入数の中には、紙ではなくデータで発行されているものもありますので、本ですと同じものが5冊6冊入る場合は重複して数えますが、データについては1冊と数えて、本で受け入れたもの+データで保存しているものということでカウントしています。令和5年度実績値の306冊の中には、データで受け入れたものも入っております。

武井委員：データで受け入れたものを見たい場合はどのようにすればよいですか。

事務局（堀野館長）：袖ヶ浦市の郷土行政資料のデータのものについては、図書館でプリントアウトして本として製本して受け入れもしていますので、見たい方がいる場合は本の方を提供してご覧いただく形になります。

吉村委員長：他にはございますか。

高橋委員：資料4ページの市民登録率について、10年経つと登録が抹消されるのはわかるのですが、登録人数が少ないのか、だんだん減っていきまうと思います。10年経って抹消される前に、10年経つ方に対して継続される意思があるのか等の確認はされていないのでしょうか。

事務局（芦田班長）：10年図書館を利用していない方について、登録抹消になりますが、抹消される方の方が新規に登録される方より少し多い形になります。加えて、袖ヶ浦市民そのものの人数も増えている関係で、若干少しづつ市民登録率が下がっている状態となっております。10年経って抹消する前に抹消される旨の連絡については、現在は行っておりません。1,000人を超える人数になるため、現状としてはできていない状態です。

吉村委員長：よろしいでしょうか。他にはございますか。

武井委員：別綴じ参考資料13ページの県内公立図書館サービス指標について、木更津市が個人貸出登録率は千葉県1位で63.4%になっていますが、個人貸出冊数が1.80冊で少ないように感じるのですが、これはなぜでしょうか。

事務局（相武班長）：木更津市図書館の館長に、どのような工夫をされている

のか質問したところ、木更津市の図書館は10年未利用等の登録抹消をしておらず、亡くなった方や転出された方も登録されているため、年々上がってしまっているということです。また、市によって、市民の方以外も登録率に入れているところもあり、袖ヶ浦市を含めアスタリスクがついている市は市民だけの登録率ですが、ついていない市は市民以外も入れた登録率になっています。登録を抹消していないと資料のような数値になるため、市のランキングも見た目通りの実情ではないのかと思います。

吉村委員長：袖ヶ浦市としては的確な状況が反映されていると思います。他にはいかがでしょうか。

星野副委員長：まず、全体的に○と◎しかないというのは、ここまでくるのは大変な努力だと思います。先ほど話のあった市民登録率が徐々に下がっているというのは、この10年間でインターネットや携帯の普及が影響して、もともとは調べものをするために図書館の本を借りている方も多かったところが、調べものはインターネットや携帯のほうが便利であるので、単純に読書のために本を借りるということになっている、というところがかなり大きいかと私自身は思っています。ウェブの利用の仕方についても、新規登録もウェブでできるようになったり、ウェブ予約受付件数も非常に増えたりと、令和7年の目標値は達成しているという所は評価できると思います。ただ、先週はと思った事件があり、それは富山県で来年から毎日新聞が毎日配達されなくなるということです。要するに、今印刷物の時代ではなくなってきているということのはしりだと思います。それと同時に、もう一つのニュースなどで、今全国の市から本屋さんがなくなってきている。いわんや袖ヶ浦市にも本屋さんがありませんよね。新しい本を買おうと思っても、コンビニで買うか、木更津市等で買うかということしかできなくなってきているということで、本を見て選んで購入するという作業ができなくなってきていると思います。その中で図書館の利点は何かを考えていかななくてはいけないと考えています。これが一つの問題の提起の仕方です。もう一つが、今いきいき百歳体操というものをやっており、その中で大体メンバーが平均すると75歳ぐらいになります。その方々に働きかけているのですが、皆さん携帯を持っているが、携帯を使って通販をしたり何かを申し込んだりしたことがないそうです。この後に電子図書館の話も出てくると思いますが、なぜやらないのかと聞くと、詐欺にあうから、または被害者になって色々なことに巻き込まれるから若い者からそういうために使ってはいけないと言われているというような所が出てきているかなと思います。電子化していくのは、世の中の風声として間違いがないことだと思いつつも、お年寄りや子ども、そういった二つの層に対して、やはり見て選んで借りるまたは購入するという機会をつくって、それをどのように引き延ばしていくかが図書館の役割ではないか

と思いました。

吉村委員長：ありがとうございました。それではよろしければ、資料6～19ページにつきましてご質問、ご意見を伺います。

粕谷委員：いつも図書館それぞれの年代別に色々な催し物をしていただいて、ありがたく思っています。学校の方は最近、図書物流システムで、長らく要望を出していた開架資料の貸し出しをして下さっていて助かっています。長浦おかのうえ図書館から開架資料が物流で届きまして、調べ学習でということや、一つのテーマにつき5冊まで等の制限はありますが、ありがたく思っています。昨年の12月に中高生向けの電子図書館利用についての図書館だよりを発行していただいて、推進をしていただいているところですが、私の方も市内の学校の方に推進するように声かけをしていきたいと思えます。こちらは、子どもたちが電子図書館に登録しますと、最新の開架の本を子どもたちが持っているタブレットから見られるという理解でよろしいでしょうか。

事務局（堀野館長）：紙の本と電子図書館が別のものになりますので、紙の本で出ている今話題の本が電子図書館に入っているとは限らないのですが、電子図書館として受け入れた電子書籍の本は子どもたちが自分のタブレットでログインしてもらえれば、見て借りるまたは予約していただくことも可能です。

粕谷委員：学校の方も、学校の中や物流システムで実施していても、なかなか新しいものが揃わないこともあるので、電子図書館を利用しながら調べ学習をしていけたらいいなと思いました。貸し出しの利用については、各司書教諭や学校の要望もあると思うので、連携を取りながら進めていただければと思います。

吉村委員長：ただ今、粕谷委員からご質問いただいたのは、資料11ページ、12ページの児童・青少年に対するサービスのところですね。12ページに記載されているように、袖ヶ浦高校さんへは、図書館から出前講座という形で電子図書館の利用方法の講座を実施しているということで、非常に効果的だったのではないかと思います。また、市内中学校5校には電子図書館の利用についての図書館だよりの配布を行ったということで、今後中学校さんへも出前講座などの予定はございますか。

事務局（相武班長）：中学校それぞれのクラスに回るのは難しいので、学校司書の方が集まる機会に使い方の説明をさせていただければと思います。

事務局（塩谷館長）：袖ヶ浦高校については、本日お越しいただいている学校司書である三神先生に学校側とうまく調整をとっていただき、講座の開催へ繋げることができました。その後、利用者の年齢別実績などが伸びており非常にありがたかったです。

吉村委員長：学内調整が難しかったと思いますが、三神委員いかがですか。

三神委員：学内調整はそこまで大変ではなかったのですが、電子図書が使えるようになった時に、先生方からの反応が一番多かったのが、調べ学習に使えるようになるというものでした。ただ、中高生だけを対象にしたものではないと思うので、なかなかそういった資料を揃えていくのは難しいと思うのですが、資料が増えると先生も授業の中で使えるようになるので、増えていくと嬉しいです。

吉村委員長：タブレットで見られる図書は限られておりますね。調べ学習で使える資料は少ないということですね。

事務局（塩谷館長）：蔵書の内容も小説や物語が多く、調べ学習には直結しないような一般向けの資料が多いので、直接そこには結びつかないのかもしれませんが、利用者の増ということでご協力をいただいています。

武井委員：インターネットで調べものすることが多くなり、学校の本等で調べものをする機会が少なくなっているように思います。検索の仕方や考え方など調べ方をトレーニングするには、やはり図書館等を利用し、図書が検索の仕方等を学ぶ導入になることが望ましいと考えます。

鶴田教育長：図書は目次があって索引があってそこから調べますが、ネットは知りたい言葉をピンポイントで調べられるため、全体がわからないまま調べていくという大きな違いがあると思います。子どもたちには、索引等を使ってきちんとひいていくのが学習になると思います。言葉を検索の枠に入れば、ポンと答えが出てくるのは調べ学習としては少し違うのかなと思います。ウェブというのは、情報量が多いが、文献に比べると信憑性がないため、きちんと編集された図書館の本で学習させていくのが、学校教育の調べ学習ではないかと私は思っています。

武井委員：チャットGPTがありますが、統計的な処理なため多数派の情報が優先されるそうですね。まさに信憑性の問題で、間違った情報でも入ってしまう危険性があります。図書についての仕事というよりは、情報教育のようなものをどこかで行った方がよいのかなと思います。

宮越委員：実は、娘が2、3、4年生の時に、調べ学習でありがたいことに市の優良賞をいただいております。取り組んでみて、非常に勉強になったと思うことは、ネットリテラシーです。今後大学に行ったら卒業論文があって、論拠をしっかりさせるということもあります。写真を撮るにしても、いつ誰が撮ったかということ、調べ学習では記載しなくてはいけないため、そういった情報の取り扱いを学ぶのに非常に良い機会だったなと思っています。そのことを踏まえても、図書館の図書と親しむ、情報と正しく付き合うという点でも、調べ学習はとてもよい機会だと思います。最近ネットを参考にしましたよ、という所も必ず論拠が必要で、正しいところから引っ張ってきているかということも記載しなくてはならないため、そこも学ぶ機会になると思います。

高橋委員：資料15ページのおひざにだっこのおはなし会についてなのですが、孫が昨年のおはなし会に参加させていただきました。親の方が本について子どもに読ませないといけないのだという気持ちを持ったようで、それから帰って毎晩子どもに本を読み聞かせるようになったそうです。孫は家に来ると本を読みたいと話しています。本が好きになったので、今後も増やしてほしいなと思います。子どもの前には親がいて、親も子どもの姿を見ているのではないのでしょうか。本と一緒に読みませんかというような声がけをしていたら、親の方が図書館で本を借りようという形になるのかなと思います。

吉村委員長：資料14ページの成果・効果のところですが、袖ヶ浦市は「ブックスタート」「すきすき絵本タイム」「おひざにだっこのおはなし会」「えほんのひろば」や小学校低学年向け等のイベントなど、絵本や図書に関するイベントを細かく行っていて、他市に見られない特色だと思います。ぜひ続けていただきたいです。また、先ほどの市民登録率との関係で、0歳児が利用券を作れるということをおわかっていない方も多いのではないかと思います。1枚で15冊借りられるということで、赤ちゃんの分も含めて上限冊まで借りられる方も多いと思います。良い絵本は1冊1,000円以上しますので、若いご家庭など本屋さんで選ぶとなると難しいと思うので、図書館でたくさん借りて、これはというものを購入されているかと思います。赤ちゃんも利用券を作れるということや、カウンター近くでお声がけできるようになっているところも工夫されていると思います。あとは、12ページの成人に対するサービスのところで、図書館に足を向けていただくために興味を持ちそうな講座をされていて、「そろそろ始める 団塊ジュニアのための老後資金計画」は非常にうけていたのではないかと思います。今後は新NISA等でしょうか、今後の予定はいかがですか。

事務局（堀野館長）：今年度も成人向けの講座を行う予定ですが、具体的なものは確定しておりません。

事務局（相武班長）：時期は12月頃を予定しておりますが、これから講師にあたろうというところです。

吉村委員長：借りてすぐに帰れる絵本のセットもすごく独特で、続けてほしいと思います。

星野副委員長：質問で、14ページで上映権付きのDVDの情報がありますが、移館についてどのように考えているかお聞きしたいです。例えば、中央にある本を長浦の方で館の所蔵を変えて保存することはできるのですよね。上映権付きのDVDを中央で購入して、長浦の所蔵にするということではできないのでしょうか。

事務局（堀野館長）：権利者の方から、中央図書館で購入したものは、中央図書館でしか使えない、他の館へ移館してその権利を移すということではできないという回答をいただいています。

星野副委員長：わかりました。あと、ビジネス本や医療関係等の本の比率を高くしていると思いますが、1～2年で移館という作業を行い、同じジャンルでも見る人が変わることで、もっと色々な人たちにとって効率的になるのではないかと思います。技術的にできるのかを考えてほしいというところです。もう1点が、整理と保存が図書館の大事な役割となってくると思います。先週、7月17日に生涯学習課の先生からお話を伺いました。タイトルとしては、「長浦の歴史講話のパート2」というものです。昔あった神楽が今はもうなくなってしまっているというもので、講師の先生から、できれば写真がほしい、または記録に関するものがあつたらほしいという意見がありました。その場合、その資料はどこで保管しておくべきものなののでしょうか。また、それをアーカイブとして残した場合、それはどこが保存するようになっているのでしょうか。郷土博物館と図書館とどちらが良いのかという線引きですね。大阪市立の図書館では、古文書や昔の古地図といったものは、桐の箱に収まっている。空調が効いた、紫外線もなるべくあてないような保存するための部屋が図書館にあります。また、郷土博物館の本の整理の仕方を見ると、ホームページから覗ける整理の仕方は、図書館に比べると少し物足りない気がします。これはどのように住み分けをとっているのか、または今後どのようにしていくのかということを考えてほしいということも含めて、今考えていることがあれば教えていただければと思います。

事務局（堀野館長）：古い写真ですとか古文書ですとか、もしそういったものが図書館の方に声がかかった場合は、現時点では郷土博物館の方をご案内する形になるかと思えます。というのも、市の市史編纂室が郷土博物館にありまして、そちらの方で多くの市民の方の古文書や古地図等を保管したり、寄託を受けたりということを実施していると伺っています。また図書館の方は残念ながら貴重書ですとか、保管に気を遣うようなものを保管する環境がないため、図書館の方では今のところ保管できないというのが現状だと考えております。

事務局（塩谷館長）：その他に図書館側では、郷土博物館で調査した結果を市史編纂や袖ヶ浦市史等の冊子として出したものや、博物館から出版された博物館だより等の資料について、資料として保存しております。直接現物を預かって丁寧にしまっておけない状況ですので、まずは郷土博物館の方へ案内をしている状況です。

武井委員：基本的に、郷土博物館は収蔵庫もあって、空調が効いて保存ができます。図書館はそこまで湿度等まで管理はできないと思うので、郷土博物館の方が適切だと思います。先ほどおっしゃったように、アーカイブや複写等があれば、それを図書館で管理するのがよいかと思えます。

吉村委員長：他にはよろしいでしょうか。それでは議題（１）について、事務局案のとおり承認ということによろしいでしょうか。（承認）

吉村委員長：それでは続いて、議題（２）平川図書館の閉館時間について、事務局から説明をお願いします。

事務局（芦田班長）：資料に基づいて説明。

この図書館協議会の場で閉館時間が決定する、などではなく、あくまでご意見を伺う形なので、あまり難しく考えすぎず、ご発言いただければと思います。

吉村委員長：ありがとうございました。それでは議題２につきまして、ご意見、ご質問等ございますか。

菊池委員：平川図書館の来館者の例を挙げいただきましたが、17時前から来館していて、閉館時間まで滞在しているような利用者の中に、中高生などの若い世代（10代など）はおりますでしょうか。

事務局（相武班長）：中高生は、17 時前まででしたら、何人か、ある程度決まって来館している生徒がいます。親の送迎待ちということで伺っています。17 時以降から来館する中高生はまずいない状態です。

武井委員：平川図書館ということで、私の地元の図書館ということになります。夕方に平川公民館に用事があった時に、平川図書館に寄ったりしたことがあります。この時間帯（17 時以降）になると特に冬は真っ暗になるような場所に建物があることもあり、自分は平川図書館が 17 時頃に閉館するようなイメージを持っていたりもしましたが、この時間帯の来館者の状況を考えると、平川図書館の開館は、費用対効果的には非常に悪いという印象です。17 時の閉館は、やむを得ないのではないかと思います。

宮越委員：私の娘が袖ヶ浦市のジュニアオーケストラに所属しており、毎週土曜日に平川公民館を利用しています。月に 1 回ほど、平川図書館のほうも利用させていただいています。平川図書館の印象ですが、他の根形公民館、平岡公民館に比べて、公民館カウンターと図書室（図書館）が独立していて、資料最後の記述に共感したのですが（17：00～19：00 の時間帯は、平川交流センターの 3 階まで上がってくる方が非常に少なく、特に夜暗くなると、女性の会計年度任用職員のみで滞在している場合、不審者が来館した際の対応が困難です。）、何かあったときに非常に怖いという気がします。実際私がジュニアオーケストラ終了後に平川図書館を利用しようとしたときに、本当に誰にも会わずに、自分たちだけが利用して、自分たちだけが帰るというような様子で、何かあったら怖いと思うくらい閑散としている状況なので、もっと遅い時間帯はなおさらだと思います。そのような面からも、平川図書館は 17 時閉館で良いのではないかと思います。

事務局（相武班長）：この時間帯について、現状の利用状況であれば、事務をこなすだけであれば、カウンターの職員（会計年度任用職員）は 1 人でも良いのですが、防犯上女性 1 人では本当に危ないので、利用者がほとんどいなくても 2 人体制で最後の時間まで勤務しているという状況です。

粕谷委員：私は昨年度までは中川小学校に勤務してまして、平川図書館を利用しておりました。学校で図書を利用して話をするときに、平川図書館の方にアドバイスをいただいたり、選書していただいたりしてまして、近くに図書館があることは非常に良いと思っておりました。このように思って利用するのは毎日ではないのですが、思い立ったときにすぐに利用できる状況にあるのは良いかなと思います。あとは夏の期間は子ども向けの各種イベントがあったりもするので、夏休みの期間は今まで通りで、開館時間の短縮は冬

の期間にするとか、時期で閉館時間を変える方法もあるかなと思いました。

武井委員：中川小学校の子ども達は平川図書館を利用している様子ですか。

粕谷委員：中川小学校の子ども達はあまり利用していない様子で、平川中学校の生徒が勉強などで利用しているようです。

星野副委員長：私が千葉市の中央図書館で勤務していた時に、逆に開館時間を1時間延長するという事を行ったことがあります。もともとは24時間図書館を開館するという話だったのですが、それは実際には無理なので、1時間の延長ということになったのですが、この際に、やはり人件費・光熱費・機械の維持費などについて考える必要がありました。当時これらで1日あたり27～28万円くらいかかっていたので、1年分となるとかなりの金額になり、費用対効果を考えるととても良いものではなかったです。開館時間を1時間延長して、その時間帯に実際に利用者がどのように図書館を利用していたかという点、図書館で受験勉強を行っているケースや、単に時間つぶしをしているケース、ホームレスが居場所としているケースなどで、図書を利用する目的で来館しているケースは少なかったという事を経験しています。

先ほど話のあった、費用対効果ということから考えると、やはり平川図書館17時の閉館は、やむを得ないのではないかと思います。逆にプラス面でのサービスも考えると良いのではないかと思います。閉館時間を早くする代わりに、何かプラスになるサービスはできないかと考えることを、頭の中に入れておく方が良いと思います。例えばですが、今後図書の貸出・返却サービスの機械化（自動貸出・返却機）や、レファレンスをリモートで行うなどを仮に行おうとしたときに、このように変えるけれども、このようなこともできるのでご容赦願います、というような説明ができると、利用者の方々も納得がいくものができるのではないかと思います。

吉村委員長：他にいかがでしょうか。それでは今日は決定するというよりは皆様の意見をお伺いするという事ですので、こちらで締めさせていただきます。それでは予定の議題が終了いたしましたので議長の任を解かせていただきます。

事務局（芦田班長）：ありがとうございました。

それでは事務局からいくつか報告事項がございます。

報告事項（それぞれ資料に基づき概要を説明）

（1）令和6年度図書館経営方針及び重点施策について（芦田班長）

(2) 令和6年度こどもの読書週間記念行事の実施結果について（相武班長）

(3) その他

図書館・電子図書館利用者アンケートについて（芦田班長）

電算システム更新について（芦田班長）

事務局（芦田班長）：それでは、これで令和6年度第1回図書館協議会を閉会いたします。皆様お忙しい中、長時間のご出席ありがとうございました。

令和6年度第1回袖ヶ浦市立図書館協議会次第

日時 令和6年7月22日(月)
午後2時から4時まで
場所 袖ヶ浦市立中央図書館
2階 視聴覚ホール

(辞令交付式)
自己紹介 協議会委員、教育部職員

1 開 会

2 あいさつ

- (1) 委員長あいさつ
- (2) 教育長あいさつ

※出席人数確認、配布資料確認

3 議 題

- (1) 令和5年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価について
(第2回) : P. 2
- (2) 平川図書館の閉館時間について : P.20
- (3) その他

4 報告事項

- (1) 令和6年度図書館経営方針及び重点施策について
※別冊「袖ヶ浦の教育 令和6年度」P.57～58参照
- (2) 令和6年度こどもの読書週間記念行事の実施結果について : P.22
- (3) その他

5 閉 会

第 19 期袖ヶ浦市立図書館協議会委員名簿

氏 名	選 出 区 分	備 考
かすや ひさえ 粕谷 久恵	学校教育 根形中学校校長	新任
みかみ あやこ 三神 亜矢子	学校教育 袖ヶ浦高等学校実習助手	1 期目
きくち いくこ 菊地 育子	学校教育 平岡小学校学校司書	1 期目
こばやし きみよ 小林 君代	社会教育 おはなし会ボランティア	2 期目
いしい きみえ 石井 喜三江	社会教育 公民館運営審議会委員	2 期目
たかはし かずこ 高橋 和子	家庭教育 ファミリーサポートセンター提供会員、家庭教師	4 期目
みやこし さとこ 宮越 賢子	家庭教育 公募	1 期目
よしむら まりこ 吉村 真理子	学識経験 千葉敬愛短期大学副学長	3 期目
ほしの ひろし 星野 裕司	学識経験 元千葉市立美浜図書館館長	2 期目
たけい たかふみ 武井 隆文	学識経験 元袖ヶ浦市職員	1 期目

委員任期

令和4年12月1日から令和6年11月30日まで

議題（１）令和５年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価について

（第２回）

“図書館はサービス水準の向上を図るため、サービスの実施状況について点検及び評価を行う際の評価指標及び目標年度を令和７年度とする数値目標を設定し、その達成状況等について、年度ごとに点検及び評価を行います。”

（「袖ヶ浦市第４次図書館サービス網計画」３－５サービス評価指標）

図書館法は、第７条の３及び第７条の４において、図書館が自らの運営状況について評価を行い、その結果に基づき、運営の改善のための必要な措置を講じ、運営状況に関する情報を地域住民等へ積極的に提供するよう努めなければならないことを規定している。

袖ヶ浦市立図書館は、令和３年度に袖ヶ浦市第４次図書館サービス網計画を策定し、その後、地域住民の代表である図書館協議会の協力を得ながら、図書館サービスの実施状況について、年度ごとに点検・評価を行い公表してきた。今回は、前期計画３年目の点検・評価となる。

なお、第４次図書館サービス網計画の計画期間は、令和３年度から令和１２年度までの１０年であるが、図書館を取り巻く環境の変化等に柔軟に対応するため、計画期間を前期と後期の各５年に分けており、サービス評価指標及び参考指標と数値目標については、前期の最終年度である令和７年度を目標年次としている。

令和５年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価のスケジュール

時 期	作 業 内 容
１月まで	・令和５年度の取組を、第４次図書館サービス網計画のサービス内容（１）（２）（３）のシートに分けて点検する。
２月	・【令和５年度第２回図書館協議会】図書館協議会委員の意見を伺う。
４月～６月	・シートに記載した点検内容の追加及び修正を行うとともに、確定した令和５年度の実績数値によって、サービス評価指標の達成度について評価する。
７月	・【令和６年度第１回図書館協議会】図書館協議会委員の意見を伺う。（前回の追加及び修正）
８月	・教育部課長会議及び教育委員会で報告する。
９月上旬	・図書館のホームページを通じて公表する。

令和5年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価の評価方法

袖ヶ浦市第4次図書館サービス網計画において、数値目標を設定した指標は、サービス内容(1)に対応するサービス評価指標(①～⑪)と、サービス内容(2)(3)に対応する参考指標(⑫～⑳)とで構成されている。これらの指標のうち、参考指標については主に活動指標(※1)であることから評価の対象とせず、成果指標(※2)が主である①～⑪のサービス評価指標の達成度に基づいて評価するものとした。

- ※1 活動指標：目標を達成するための手段(事業の進め方・やり方)の大きさを表す指標(アウトプット指標)。
- ※2 成果指標：事務事業を行うことによって対象にどれだけの効果を与えることができたかを表す指標(アウトカム指標)。

1 点検

令和5年度に行った図書館サービスの取組を、第4次図書館サービス網計画のサービス内容(1)(2)(3)のシートに分け、「取組内容」「指標の実績値」「成果・効果」「課題」「今後の対応」を記載しました。

2 図書館協議会からの意見

地域住民の代表である図書館協議会委員からの意見をサービス内容ごとに伺い、サービス内容(1)(2)(3)のシートに「図書館協議会からの意見」としてまとめました。

3 評価

- (1) サービス評価指標①～⑪の目標値に対する達成度を4段階で表示しました。

◎：目標値に対して100%以上の達成率
○：目標値に対して80%以上100%未満の達成率
△：目標値に対して60%以上80%未満の達成率
×：目標値に対して60%未満の達成率

- (2) サービス評価指標①～⑪の達成度◎を30点、○を20点、△を10点、×を0点として採点し、平均値を全体評価としてA・B・Cの3段階で表示しました。

A：施策の成果が十分に図られている。24点以上(80%以上)
B：施策の効果が図られ、一定の成果があった。 18点以上24点未満(60%以上80%未満)
C：施策の成果が十分に図られているとは言えず改善を要する。 18点未満(60%未満)

袖ヶ浦市第4次図書館サービス網計画に定めるサービス評価指標の、令和5年度における達成度は以下のとおりでした。

令和5年度達成度点数合計 240点 ÷ 項目数 10 = 平均値 24点 ⇒ 全体評価：A

サービス評価指標	R7 目標値	R5 実績値	達成率	達成度	点数
①市民1人当たりの所蔵図書冊数	11.3冊	11.0冊	97.3%	○	20点
②袖ヶ浦市関係郷土行政資料の年間受入冊数	300冊	306冊	102.0%	◎	30点
③年間個人貸出利用者数	149,000人	125,284人	84.1%	○	20点
④年間個人貸出資料点数	550,000点	500,670点	91.0%	○	20点
⑤市民1人当たりの年間個人貸出資料点数	8.5点	7.6点	89.4%	○	20点
⑥年間市民新規登録者数	1,400人	1,135人	81.1%	○	20点
⑦市民登録率	42%	37.1%	88.3%	○	20点
⑧年間リクエスト処理件数	55,000件	68,582件	124.7%	◎	30点
⑨年間レファレンス処理件数	1,200件	1,394件	116.2%	◎	30点
⑩1か月当たりのウェブ予約受付件数	4,000件	4,331.6件	108.3%	◎	30点
⑪来館者満足度	80%	偶数年度実施	/		
全 体 評 価			A	合計点 240点	
				平均点 24点	

【全体評価】

サービス評価指標10項目の達成度点数合計点240点を項目数10で除算した平均点は、24点となり、全体評価は「A」となります。

【総括】

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたこともあり、利用状況は令和4年度よりもさらにコロナ禍前の状況に戻りつつありますが、まだ完全に戻ったとは言い切れない状況です。

サービス評価指標では、全10項目全てで達成率80%以上となり前年度より改善しましたが、達成率100%を超えた項目は②、⑧、⑨、⑩の4つのみでした。

達成率80%以上100%未満となった6つの項目のうち、①一人当たりの所蔵図書冊数、⑤市民1人当たりの年間個人貸出資料点数については、令和4年度に比べて減となりました。要因としては木更津市立図書館と君津市立図書館において施設改修による長期休館が行われ、休館中多くの両市図書館利用者が当館を利用しましたが、両市図書館の再開館に伴い当館を利用しなくなったためと考えられます。引き続きより一層の利用拡大に向けて、限られた予算の中で図書館として必要な資料だけでなく、市民の暮らしがより豊かなものとなることを目指し、課題解決や生涯学習の一助となるべく、長い年月に渡り活用できる良書を厳選して購入し、資料の充実を図りたいと考えます。

⑦市民登録率については、令和2年度に市人口が令和7年度目標値65,000人を超え、令和6年3月末には66,041人となり微増ではありますが人口増加を続けています。市民登録率の目標値は市人口の42%で、27,738人の登録が必要でしたが、3,235人不足しており達成率90%を割り込むことになりました。利用登録が無い人も図書館に関心を持ち、利用してもらえるように、来館のきっかけとなるようなおはなし会を始めとした各種イベントの開催やおすすめ図書などの資料情報を市の広報誌や図書館ホームページ、SNSなどを活用して積極的に市民に向けて発信し、新規登録者増に努めます。

③年間個人貸出利用者数、⑥年間市民新規登録者数の2項目についても達成率が90%未満であり、この項目の達成率を向上させることは、④年間個人貸出資料点数、⑦市民登録率など他の項目の達成率向上にもつながることから、前述のとおり利用者、新規登録者の増に取り組み、より多くの市民が「市民の書齋として、思索の場として、そして市民のふれあいの場として」図書館を利用するように努めます。

また、昨年度目標値に対し80%未満の達成率だった⑨年間レファレンス処理件数は、コロナ禍において、積極的な市民へのレファレンスの働きかけを控えていましたが、5類移行に伴い、フロアワークでの声掛けの再開や中央図書館での児童カウンターへの職員配置の再開などを行った結果、昨年度比で50%近く増加し、目標値100%超となりました。今後とも市民の課題解決支援として、声掛けなどの働きかけを継続していきます。

サービス内容（１）「資料及び情報の収集、提供等」取組状況シート

取組内容（「★」新規、「☆」一部新規・拡充、「・」継続）

① 図書館資料の収集

- ・「袖ヶ浦市立図書館資料収集規程」及び「袖ヶ浦市立図書館資料選定基準」に基づき、新刊図書を中心に購入し、全館の開架資料 311,280 冊に対して 10,775 冊を受入（うち購入 10,074 冊）し、開架書架の約 3.5%を更新した。
- ・寄贈図書の受入れを積極的に行い、659 冊（一般書 640 冊（うち郷土資料 369 冊、一般用 271 冊）、児童書 19 冊）を受け入れた。
- ・行政資料については年度当初に市役所内に広く寄贈を呼び掛け、データのみで公表した資料は図書館で製本して受け入れたほか、電子資料としても保存することとした。図書館で製本した袖ヶ浦市関係郷土行政資料 50 タイトル、86 冊。
- ・電子図書館のコンテンツを利用状況や利用者の年代等を考慮して 239 点購入した。

② 貸出サービス

- ☆予約・リクエスト資料をより早く多くの利用者に提供するため、1月から資料の取り置き期間を2週間から1週間に変更した。
- ・図書館で所蔵していない図書について、県内公立図書館および大学・県外図書館から図書を借用して利用者に提供した。3,399冊（うち大学・県外3冊）
- ★根形・平岡公民館図書室の利用促進を目的に本の取り寄せ方法等を記載したポスターを作成し、公民館図書室に掲出するとともに、講座等公民館事業の関連図書等を紹介するミニ特設コーナーを設置し、公民館利用者の関心が高い資料の紹介に努めた。
- ・幅広い年代に対して図書館の豊富な資料を紹介する取組として、特設コーナー等において図書館（中央・長浦・平川図書館）共通で市民の生活課題の解決に資するテーマを取り上げて積極的に提供したほか、平川図書館では蔵書内容の特性を活かし、独自のテーマで展示する月を設けた。秋のトショロ月間では「こんな本もあったんだ！？ちょっとマニアックな本たち」というテーマで長浦おかのうえ図書館カウンター前で展示・貸出を行った。
- ・webOPAC（インターネット上でアクセスできる蔵書目録）上で図書館おすすめに掲載している各種リストを適宜更新したほか、関心が高いと思われるNHKの朝の連続テレビ小説や大河ドラマに合わせたテーマなどを取り上げた。
- ・男女共同参画週間（6/23～6/29）に合わせ、6月の特設コーナー「共に生きる」で関連図書を紹介したほか、司書が選定した令和5年度版「男女共同参画社会図書リスト」を作成し、図書館（中央・長浦・平川図書館）だけでなく市民協働推進課でも配布した。
- ☆特設コーナーとは別に、時事的なテーマのおすすめ図書を紹介する取組として長浦おかのうえ図書館のカウンター前では時節に合わせたテーマに関するおすすめ図書コーナーを通年で設置し、幅広い資料の紹介を行った。
- ★公民館図書室にミニ特設コーナーを新たに作り、公民館の各種講座や季節に合わせたテーマで、資料の紹介を行った。

- ・映画会、文芸講座など読書普及事業の集会事業開催時に関連図書を紹介したほか、秋のトショロ月間では、長浦おかのうえ図書館カウンター前で成人向け講座の開催に合わせた関連図書の展示・貸出を行った。
 - ・「若い人に贈る図書館お薦めの20冊」の図書リストを改訂して図書館内で配布したほか、館内の特設コーナー、webOPACの「図書館おすすめ」、X（旧ツイッター）で紹介した。
 - ・市の広報誌の「おすすめ図書コーナー」で毎月2冊紹介文付きでおすすめ図書を掲載したほか、図書館ホームページに図書館員の個性を生かしたテーマで「図書館員のおすすめ」を2か月ごとに掲載した。
 - ・「スタンプラリー」「本のおたのしみ袋」「えほんのふくぶくろ」など、貸出の増加につながる事業や企画を年間を通じて推進した。
- ☆公民館図書室の利用促進を図るため、長浦・平川で行っていた対象年齢別の「すぐに借りて帰りたい人のためのおすすめ絵本セット」を6月以降は根形・平岡でも作成と随時提供を始めた。
- ★12月から市の電子申請システムを利用し、マイナンバーカードを使い図書館の利用申込を来館せずに行えるようにした。
- ・勤労世代や学生など余暇が少なく来館が難しい方でも好きなタイミングで図書を借りることが出来る電子図書館サービスを実施した。提供コンテンツ数531点、のべ貸出冊数2,269点、1か月あたり貸出冊数189.1冊（R4年度末の貸出冊数91.8冊）、1か月あたり利用人数62.7人（R4年度末の利用人数42.4人）
- ☆電子図書館にアクセスしやすい環境整備として、ホームページのトップページに電子図書館のリンクバナーを設置するとともに、新たなコンテンツの利用開始に合わせて市のLINE等で広報した。
- ☆図書館を直接利用しない市民にも図書館の資料を広く提供するため、団体貸出サービスについて、市内高齢者デイサービス提供事業者へ利用案内のチラシ送付を行った。
- ★部活動や学習などで余暇が少なく来館が難しい高校生に電子図書館の利用を働き掛けるため、11月に袖ヶ浦高校の1年～3年生の希望する生徒に対し、電子図書館の利用方法の講座を袖ヶ浦高校で実施し、生徒教職員合わせて42人が参加した。
- ☆中高生向けに電子図書館の利用についての図書館だよりの号外を12月に作成・発行し、SNS等で周知したほか市内中学校5校と袖ヶ浦高校への配布及び掲示依頼を行った。

③ レファレンス・情報提供サービス

- ・市民の課題解決を支援するため、インターネットやデータベース等も活用し、利用者の求めに応じて資料及び情報の提供・紹介等を行うレファレンスサービスを推進した。
- ・レファレンスにおいて、最新の情報の提供にはデータベースを積極的に活用し、利用者が求める資料や情報の提供を図った。
- ・袖ヶ浦市立図書館の所蔵資料では解決できないレファレンスについて、県立図書館と国立国会図書館へのレファレンス依頼を行い、利用者の課題解決に努めた。

- ・袖ヶ浦市立図書館の所蔵資料では解決できないレファレンスについて、郷土博物館と県立美術館へのレフェラルサービスを行い、利用者の課題解決に努めた。
 - ・利用者の求めに応じて、国立国会図書館や大学図書館へ文献複写を依頼し、袖ヶ浦市立図書館では所蔵していない専門的資料を提供した。(国会3件・県外図書館1件・大学1件)
 - ・パスファインダー(調べ案内)は大人向けに「『健康・医療』情報」改訂版、『高齢者介護』を、児童向けには「『お金』を調べる」をそれぞれ作成し、図書館のホームページに掲載した。紙の資料は全館で配布したほか、テーマに合わせ、健康推進課、高齢者支援課、介護保険課等関係機関にも配布して活用を図った。
- ☆ホームページに掲載しているパスファインダーについて、今まではPDFファイルのみの掲載だったが、すぐに関連本の予約ができるように関連本の所蔵一覧を新たに作成しリンクを表示させた。
- ・月替わりで時機をとらえた共通のテーマで関連図書を紹介する特設コーナーでは、SDGsの目標に対応したテーマを積極的に取り上げ、17の目標のうち8つの目標について紹介した。
 - ・市役所職員向けに毎月、袖ヶ浦市関連の新聞記事見出し一覧を公開するとともに、レファレンスサービスの周知を行った。
 - ・図書館だよりでレファレンスサービスに関する記事を掲載するとともに、市役所庁内に向けては庁内グループウェアを活用し周知を図った。
- ☆土日に中央図書館児童カウンターへの職員配置を再開するとともに、利用者が職員に相談しやすくなるように職員や委託スタッフの名札に「本探しお手伝いします。気軽にお声がけください」の案内表示を行い、さらに中央と長浦では夏休み期間中の入口付近での「夏休みの宿題応援します」という案内掲示を行いレファレンスの周知を図った。レファレンス処理件数1,394件(R4年度末の処理件数936件)

サービス評価指標	前期計画 目標値(R7)	R5 実績値	達成度
①市民一人当たりの所蔵図書冊数	11.3冊	11.0冊	○
②袖ヶ浦市関係郷土行政資料の年間受入冊数	300冊	306冊	◎
③年間個人貸出利用者数	149,000人	125,284人	○
④年間個人貸出資料点数	550,000点	500,670点	○
⑤市民1人当たりの年間個人貸出資料点数	8.5点	7.6点	○
⑥年間市民新規登録者数	1,400人	1,135人	○
⑦市民登録率	42%	37.1%	○
⑧年間リクエスト処理件数	55,000件	68,582件	◎
⑨年間レファレンス処理件数	1,200件	1,394件	◎
⑩1か月当たりのウェブ予約受付件数	4,000件	4,331.6件	◎
⑪来館者満足度	80%	偶数年度実施	

成果・効果

- ・非来館での図書館の利用申込を可能にしたことにより、余暇時間が少なく来館が難しい人でも利用申込が可能になり、年間市民新規登録者数の増加と電子図書館利用促進に向けた環境整備ができた。
- ・公民館図書室で公民館事業の関連図書を紹介することで、公民館利用者の関心が高いテーマの本を紹介することになり図書室への来館契機を作ることができた。
- ・電子図書館についての積極的な周知及びコンテンツの数と質の充実を図った結果、令和4年度と比較して1か月あたりの平均利用人数が約1.3倍、貸出冊数が約1.7倍と大幅に増加した。
- ・中央図書館児童カウンターへの職員配置や名札への声掛け案内貼付、宿題応援の案内掲示などレファレンス件数増につながる取組を積極的に行ったことにより、レファレンス処理件数が令和4年度と比較して1.7倍と大幅に増加した。

課題

- ・様々なおすすめ図書の紹介や電子図書館サービス、読書普及事業などの取組に加え、新たな取組として利用申込の電子申請化を行い利用の増を図ったが、LED化工事に伴う臨時休館の影響もあり、個人貸出、新規登録ともに伸び悩んでいる。
- ・電子図書館の利用は、広報や講座などのPR活動により一時的に利用が増加するものの継続的な利用につながりにくい。
- ・電子図書館の主な利用者世代は主に40代から60代であり、周知に努めているものの10代から20代はまだ少ない状況が続いており、引き続き10代から20代の利用促進について検討し取り組む必要がある。

今後の対応

- ・JR袖ヶ浦駅、JR長浦駅、袖ヶ浦市役所市民課前に設置の市政情報モニターや袖ヶ浦市公式LINEにおいて、図書館について広報し利用喚起を図る。
- ・袖ヶ浦高校の新生に利用申込書を配布し、申込希望者は学校を通じて申し込めるようにすることで、新規登録者数と利用の増を目指す。
- ・電子図書館の利用増に向けて、引き続きコンテンツ内容や電子申請の周知に努め、幅広い年齢層の継続的な利用を目指して厳選したコンテンツの選定と収集を行うとともに、10代から20代の利用促進に向けて利用講座の開催など袖ヶ浦高校生への働きかけを積極的に行う。
- ・図書館システム更新において、webOPACで電子図書館の資料検索を行えるようにシステムの連携を行い、利用者の利便性向上と電子図書館の利用増を図る。
- ・令和6年度の図書館システム更新において、レファレンスの内容をシステム内でデータベース化する機能を追加し、全館で共有化することでレファレンス業務の効率化と利便性の向上を図るとともに、図書館資料の利用増につなげる。

図書館協議会の意見

- 電子図書館については、当初の想定とは違う利用者層となったようだが、それもひとつの成果と言えるのではないのでしょうか。今後、若い世代が利用するような取組を行いつつ、実際に利用している世代のニーズに応えていくことも必要と思います。
- 電子図書館のリンクバナーが図書館ホームページ設置されましたが、目立たないところにあつたので、もっと目立つ場所に設置してはいかがでしょうか。
- 電子図書館の電子書籍の多くが貸出されているということは、良い選書がされていることだと思います。
- 特設コーナーやパスファインダーなど資料の紹介において、紹介された資料が予約できるようにWebOPACにリンクしているのは、紹介と貸出の一体化がされており良い取り組みです。
- オンラインでの利用登録により一度も来館せずに電子図書館が利用できることはサービスとしては便利ですが、施設としては使われないという事でもあり、書店などの他のサービスとの違いがなくなることを懸念します。
- レファレンスの件数が格段に増えています。名札への案内表示の効果とともに図書館職員の役割や専門性が利用者にもアピールできているのではないかと思います。

サービス内容（２）「利用者に応じたサービス」取組状況シート

参考指標

取組内容（「★」新規、「☆」一部新規・拡充、「・」継続）

① 乳幼児と保護者に対するサービス

☆「すきすき絵本タイム」を、夏と秋のトショロ月間内のイベントとして根形公民館図書室で実施したほか、平岡公民館図書室での乳幼児向けのイベントを要望する声に応え、4月と秋のトショロ月間内のイベントとして令和元年以来4年ぶりに実施したところ、4月は19人、秋のトショロ月間内では31人の参加があった。

- ・家庭における読書活動を推進するため、保健センターと中央図書館における「図書館でブックスタート」を毎月1回ずつ実施した。配布率72.8%。

☆「図書館でブックスタート」は中央図書館2階で開催していたが、乳児を抱きかかえて階段を上がるなど保護者の負担が大きかったため、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い部屋の収容人数の制限が緩和されたことにより、1階児童室のおはなしのへやに会場を変更し、参加者の負担軽減を図り参加しやすくした。

☆ブックスタートボランティア養成講座（全3回）を開催し、14名の応募があった。終了後12名が新たにブックスタートボランティアに登録し、活動を始めた。

- ・「図書館でブックスタート」は通常第3火曜日に開催しているが、平日に都合がつかない方の参加を考慮し、夏のトショロ月間と秋のトショロ月間内では土日に開催した。

☆利用者のニーズが高いことから、0歳からの「おひざにだっこのおはなし会」を合計で14回実施した。毎開催日2回開催予定で参加者を募集したところ、どの館でも毎回ほぼ満席になった。

- ・中央、長浦おかのうえ、平川図書館で「えほんのひろば」や「おはなし会」と「子ども映画会」を対象年齢をあわせて同日に開催することで、相乗効果により単独開催と比べてそれぞれの参加者が増えた。
- ・ウェブ上で参加申し込みができる「図書館でブックスタート」「すきすき絵本タイム」「おひざにだっこのおはなし会」「えほんのひろば」「おはなし会」について、新聞購読をしていないなどの理由で広報に接することが少ない市民に向けて、毎月月初めに市のLINEで案内を行った。
- ・対象年齢別のおすすめ図書リストの発行と図書館ホームページへの掲載を行ったほか、児童室で季節や事物など様々なテーマでおすすめ図書を展示し適宜X（旧ツイッター）で周知した。
- ・夏のトショロ月間では子どもたちが読書に関心を持つきっかけとなるように「お題の本 DE BINGO!!」（平川）や「としょかんでなつのうみをつくろう！」（根形・平岡）を実施し、秋のトショロ月間では「トショロのまちがいきがし」（平川・根形・平岡）と合わせて間違い探しのテーマに合わせた絵本の展示・貸出を行った。

② 児童・青少年に対するサービス

- ・館内おはなし会を定期的に開催したほか、保育所・小学校・中学校・学童保育等

への出張おはなし会を実施した。おはなし会等実施回数合計 474 回

- ・定期開催のおはなし会への参加が少ない小学校中学年以上の子ども向けに内容やテーマを設定して長浦おかのうえ図書館で「ちょっぴりこわいおはなし会」、中央図書館で「ちょっぴりながいおはなし会」、「英語でおはなし会」を夏のトショロ月間内で開催した。
 - ・夏のトショロ月間期間内に設けた夏休みの課題支援の一環で、調べ学習や読書感想文、自由研究についての問い合わせに多数対応したほか、読書感想文におすすめの図書のリストやパスファインダーを作成し館内での配布および貸出を行った。また、X（旧ツイッター）での周知、図書館ホームページへの掲載を行うなど積極的に支援した。
 - ・年齢別おすすめ図書リストを2回作成し、図書館ホームページへの掲載と館内だけでなく学校や保育所等へ配布した。各館の児童室では、テーマを決めた定期的なおすすめ図書の紹介展示を行った。
 - ・こどもの読書週間記念行事で実施するスタンプラリーを公民館図書室への来館機会にするために、専任職員在室日に来室するごとにスタンプを1つ押印することにしたところ、平岡公民館図書室では参加者が前年比13人増となった。
- ★部活動や学習などで余暇が少なく来館が難しい高校生に電子図書館の利用を働き掛けるため、11月に袖ヶ浦高校の1年～3年生の希望する生徒に対し、電子図書館の利用方法の講座を袖ヶ浦高校で実施した。（再掲）
- ☆中高生向けに電子図書館の利用についての図書館だよりの号外を作成・発行し、SNS等で周知したほか市内中学校5校と袖ヶ浦高校への配布及び掲示依頼を行った。（再掲）
- ・青少年の図書利用を促進するため、中学生向けの「ジュニアコーナー」や高校生向けの「青少年コーナー」の充実を図ったほか、昨年度に引き続き中学生・高校生向けに「イチオシ本のPOPを書こう！」を企画し、小学校2校、中学校4校、高校1校から612人の参加があった。

③ 成人に対するサービス

- ・月替わりでおすすめ図書を紹介する特設コーナーにおいて、時節柄関心の高いテーマを取り上げ、図書館のwebOPACの「図書館おすすめ」にもリストを掲載し、ホームページのお知らせ、X（旧ツイッター）でも広報した。
 - ・会議資料の作り方、起業、転職、経営に関する本など、働く上で役立つビジネス資料を積極的に収集し、さらに、図書館のwebOPACの「図書館おすすめ」のリストに掲載している「ビジネス書（2023年発行）」を4回更新し、図書館で購入した新刊ビジネス書の紹介に努めた。
- ★高齢者向け講座に代わり、成人向け講座として「そろそろ始める 団塊ジュニアのための老後資金計画」を開催し定員80人に対し47人の参加、参加者の満足度は約80%であった。現役世代の参加促進のためウェブ上で参加申込をできるようにし、さらに土曜日に開催したところ、40代から50代の現役世代の参加が多数あった。また、講座に関連し、長浦おかのうえ図書館のカウンター前で「シニアライフをたのしむ」というテーマで関連図書の展示・貸出を行い、貸出冊数の増加につながった。

- ・文芸講座では、ウェブ上からも参加申込ができるようにして利用者の利便性の向上を図ったほか、新型コロナ5類移行による規制緩和を受けて令和2年度以来3年ぶりに希望者と講師による懇談会を行い、理解を深める機会を作った。

④ 高齢者に対するサービス

- ・地域の高齢化が進行する中で、市民の関心が高く、常に新しい情報が求められる社会福祉と医学関連の図書を積極的に収集した。社会福祉の分野の図書(一般書)を全館で104冊収集し、同分野の全開架図書2,209冊の約4.7%を更新したほか、医学・薬学の分野の図書を全館で502冊収集し、同分野の全開架図書9,550冊の約5.3%を更新した。
- ・高齢者が利用しやすい資料として、大活字本180冊(67タイトル)や朗読CD16点(12タイトル)を購入した。webOPACの「図書館おすすめ」に掲載している「大活字本リスト 小説・2021年から発行」のリストを更新し、資料の紹介に努めた。
- ・映画会について新型コロナウイルス感染予防対策として予約制としてきたが、規制緩和に伴い予約不要としたことにより、気軽に参加できるようになった。また、参加者の作品理解を深めるために、作品上映のみならず関連図書の展示・貸出や解説書の配布を行った。

⑤ 図書館利用に障がいのある人に対するサービス

- ・心身の障がいや長期のケガ、病気等により図書館への来館が困難な市民を対象に、依頼に応じて図書館資料を届ける宅配サービスを実施した。宅配による貸出141冊
- ☆加齢による身体の虚弱等により自力来館が難しいなど、袖ヶ浦市立図書館管理運営規則で定める宅配サービスの要件に該当しない来館困難者への宅配について、利用要件を緩和し、令和7年度末まで試行実施することとした。
- ☆学習障がい等により読みに苦手さのある子どもへの図書流通システムを通じた読書支援サービスについて、小中学校の教員向けにサピエ図書館やデイジー図書(※)を案内する『読書支援サービス通信』を年2回作成・配布し、周知と利用の促進に努めた。
- ☆団体貸出の利用案内のチラシを、これまで未送付であった放課後等デイサービスと児童発達支援施設へ送付し、障がいを持つ子どもの読書機会の充実と団体貸出の利用増を図った。

⑥ 多文化サービス

- ・外国語(英語)の図書14冊(一般書2冊、児童書12冊)を購入し、webOPACの「図書館おすすめ」にも「令和5年度受け入れ洋書リスト」を掲載して資料の紹介に努めた。※外国語図書(一般)1冊寄贈あり
- ・外国語資料を活用した取組として、夏のトショロ月間の中で「英語でおはなし会!」を2回開催し、日本語と英語の両方で読み聞かせと手遊びを行い小学校中学年や高学年の子どもの参加があった。併せて、会場に洋書絵本を展示し、外国語資料の紹介に努めた。

- ・外国語図書コーナーのない長浦おかのうえ図書館、平川図書館、根形公民館図書室で外国語の絵本を日本語訳の絵本と並べて紹介展示し、貸出の機会を設けた。

参 考 指 標	前期計画 目標値 (R7)	R5 実績値	達成度
⑫ブックスタートの年間配布率	80%	72.8%	○
⑬こどもの読書週間記念行事の参加者数	900 人	1,045 人	◎
⑭おはなし会の年間実施回数	480 回	474 回	○
⑮子ども向けお薦め本リストの年間発行回数	6 回	7 回	◎
⑯成人向けお薦め本コーナーの年間企画数	12 件	49 件	◎
⑰大活字本の年間貸出冊数	4,000 冊	4,360 冊	◎
⑱宅配による年間貸出資料点数	330 点	141 点	×

成果・効果

- ・中央図書館児童室のおはなしのへやで「図書館でブックスタート」を行うことで貸出カウンターが近くなり、ボランティアが幼児絵本コーナーや育児本コーナー、0歳児から利用券が作れることを案内すると利用券を作成し借りて帰る参加者が多く、利用促進にもつながった。
- ・袖ヶ浦高校生に電子図書館利用方法の講座を実施したことで、13歳から18歳までの実利用者数が28人増加した。電子図書館を継続利用している生徒も数人おり、電子図書館の10代の利用促進につながった。
- ・乳幼児向けに「ブックスタート」「すきすき絵本タイム」「おひざにだっこのおはなし会」「えほんのひろば」を行ったほか、3歳から小学低学年向けと小学校中学年から高学年向けに「ちょっぴりこわいおはなし会」、小学校中学年から中学生向けには「ちょっぴりながいおはなし会」やを実施するなど、より幅広い年代に対して子どもの発達段階に応じた読書活動を推進することができた。
- ・市のLINEで図書館の子ども向けイベントをホームページの案内ページへのリンクを付けた画像によりPRすることで、関心を持った利用者がすぐに申込みできるようになり、LINEの配信直後に申込みが増えるなど参加者の増につながった。
- ・多言語電子絵本を含む「読書支援サービス」についてのチラシを配布したことで、読書支援サービスの対象ではないが日本語を母語としない児童のために、多言語電子絵本を借りたいと小学校教員より問い合わせがあり、個人の資料利用券で貸出を行った。

課題

- ・映画会で使用する上映権付DVDについて、上映可能場所がDVDの所蔵館に限られることになり、各館で上映できる作品が大幅に減少したため、上映回数等を見直す必要がある。
- ・読書支援サービスは、教員向けに『読書支援サービス通信』を作成・配布しサピエ図書館とデイジー図書への理解醸成に努めているが、実際の利用に結びついていない。

- ・宅配サービスについては、新型コロナウイルスにより利用を停止した方の利用再開がなく、今年度新たに1人から利用の申込みがあったものの利用者数は大きく減少したままである。

今後の対応

- ・0歳児からの「おひざにだっこのおはなし会」はニーズが高いことから、来年度は長浦おかのうえ図書館と平川図書館で開催日を1日ずつ増やして実施する。
- ・映画会で上映できる作品の購入を継続的に行うとともに、映画会の実施回数を見直して図書館（中央・長浦おかのうえ・平川）での定期的な映画会開催に努める。
- ・読書支援サービスについて、引き続き『読書支援サービス通信』などを通じて学校への周知に努めるとともに、児童発達支援施設や特別支援学校などの施設に対しても、デージー図書の貸出等の周知を図る。
- ・宅配サービスについて、現在利用していない宅配サービス利用登録者の状況確認を行い、必要に応じて利用再開について案内をするとともに、関係団体等を通じた案内の送付など周知の拡大を図る。

図書館協議会の意見

- ・利用者層に応じた様々なプログラムが用意されており、事業の頻度も多く「誰もが学ぶ」環境づくりが成されていることを評価します。
- ・どの図書館、図書室でも、子ども向けのイベントや取組をこつこつ続けていることが素晴らしいと思います。図書館・図書室に足を運ぶことを楽しみにしている親子のためにも、ぜひ続けていただきたいと思います。
- ・青少年は図書館を利用する機会が少なくなりがちな世代であるため、取組の成果が現れにくいのは仕方のないことだと考えます。しかし、今後図書館を必要とする可能性は十分にあると思うので、図書館や図書館サービスを知っておいてもらう意味でも、若い世代への働きかけや取組は続けていただきたいと思います。
- ・一般向けにも電子図書館の使い方の講座を複数回開催してはいかがでしょうか。
- ・英語の資料のみで多文化と言えるのか疑問です。本来は外国人住民のニーズの調査から始めるべきと考えます。
- ・袖ヶ浦市でも外国人が増えていることから、日本語教育を図書館だけでなく市全体の問題ととらえ、施策として検討していくべきと考えます。

※ **デージー図書**:デージー(DAISY)はDigital Accessible Information Systemの略。視覚障がいなどにより活字の読みが困難な人のために製作されるデジタル図書の国際標準規格で、CD-R 1枚に約60時間の録音ができるほか、章や見出し、ページごとに聞きたい場所へ移動することができる等の機能がある。音声データと目次・見出し情報等を記録した「音声デージー」、文字や画像が含まれている「マルチメディアデージー」などがあり、専用の再生機又は再生用ソフトウェアをダウンロードしたパソコンで聞くことができる。

サービス内容（3）「多様な学習機会の提供」取組状況シート

参考指標

取組内容（「★」新規、「☆」一部新規・拡充、「・」継続）

① 学校との連携

☆図書流通システムでの開架資料の貸出基準として新たに「図書流通システム開架資料貸出要項」を定め、これまで収蔵庫資料では対応が難しかった比較的新しいデータが掲載された資料などを貸出できるようにした。図書流通システムでの開架資料貸出冊数 135 冊

- ・学校の読書や調べ学習を支援するため、市内小中学校からの依頼に応じて図書流通システムにより 4,866 冊の団体貸出を行ったほか、学校貸出用利用券により開架資料 679 冊を貸出した。また、袖ヶ浦高校にも 59 冊の団体貸出を行った。学校図書館への貸出冊数合計 5,545 冊。
- ・中央図書館で奈良輪小児童、平川図書館で中川小児童による授業の成果物の展示を行ったほか、根形中図書委員が委員会活動で作成した「おすすめの本」を中央図書館で展示した。また、夏のトショロ月間では中央図書館で昭和中図書委員会のおすすめ図書展示、中央図書館で袖ヶ浦高校図書委員による「袖高とコラボ！親子いっしょのおはなし会」、長浦おかのうえ図書館で蔵波中美術部の作品展示を行った。
- ・市内の小中学校・高校と連携して「イチオシ本のPOPを書こう！」を実施し、小学校 2 校、中学校 4 校、高校 1 校の計 7 校から 612 人の参加があった。
- ・昭和小 2 年生、蔵波小 2 年生のまち探検の受け入れを行ったほか、中央図書館で昭和中 2 年生の職場体験の受け入れを行った。

② 関係機関との連携

★秘書広報課が企画実施した夏休み子ども向け市内周遊型謎解きイベント「ガウラを探せ たぬき探偵ジェリーの袖ヶ浦冒険日記」において、長浦おかのうえ図書館がチェックポイントとなり、ガラスケース内で展示中の小説のタイトルが謎を解くカギになった。普段図書館を利用しない人の来館契機にもなり、イベント期間中は親子連れなどが多数来館した。

- ・市民会館・平川公民館合同開催の乳幼児家庭教育学級（うたたねハッピーくらぶ）において読み聞かせと図書館活用法紹介講座「絵本の読み聞かせ&図書館を活用しよう」を行った際に図書館から講師を派遣した。
- ・郷土博物館との連携事業として郷土博物館企画展「袖ヶ浦市の外来種」に関連して中央図書館で「外来種と絶滅危惧種」の資料展示を行った。図書館展示側に企画展のポスターやチラシを掲出することで相乗効果がもたらされるよう工夫した。
- ・根形公民館と平岡公民館の公民館講座に関連図書を提供し、講座内で図書の紹介をしてもらったほか、公民館まつり開催時は図書室で「すきすき絵本タイム」を実施した。
- ・市役所の関係課からの問い合わせに応じて、業務に必要な資料や情報を調査し提供した。問い合わせ件数 8 件
- ・男女共同参画週間（6月23日～29日）の時期に「図書館おすすめ男女共同参画

社会関連図書リスト」を作成し、図書館・図書室5館のほか、市民協働推進課へも配布した。

③ ボランティア活動等の推進

☆ブックスタートボランティア養成講座（全3回）を開催し、14名の応募があった。終了後12名が新たにブックスタートボランティアに登録し、活動を始めた。（再掲）

- ・おはなし会やブックスタート（すきすき絵本タイム含む）、映画会、資料展示、工作など市民ボランティアとの連携により、読書普及事業を推進した。
- ・乳幼児向けおはなし会の依頼が増えていることから、「わらべうた」をテーマにしておはなし会ボランティアスキルアップ講座を経験の長いボランティアを講師に開催した。また、特に経験の浅いおはなし会ボランティアのスキルアップを目的に、絵本の読み聞かせと素話の練習会を2回開催した。
- ・夏のトショロ月間の「英語でおはなし会!」、秋のトショロ月間「青空かみしばい劇場」と「ハロウィン工作教室」において、社会教育推進員から内容や会場の装飾などについて様々なアイデアが出され充実した催しを実施できた。
- ・中央図書館の資料展示において、展示ボランティアが毎回テーマに則した様々な飾りや立体物を手作りしてくれるため、展示自体が華やかになるとともに来館者が展示に関心を持つ契機になっている。
- ・映画会ボランティアの映画に関する豊富な知識を活かして上映作品選定や作品紹介を行うとともに、ボランティアが受付をすることで上映作品の要望など参加者からの意見を得やすくなった。
- ・秋のトショロ月間では図書館登録サークルによる成果発表の場を設け、俳句・短歌作品展示や人形劇団による人形展示と人形劇、「大人のためのお話し会」や朗読発表会を行い、サークル活動の活性化を図った。また、図書館で所蔵する関連図書の紹介もあわせて行った。

④ 図書館からの情報発信

・図書館が広く市民に活用されるために、市の広報紙や公式LINE、図書館のホームページ、X（旧ツイッター）やメールマガジン、図書館だより等様々な媒体を活用して、図書館の資料や読書普及事業等について積極的な情報発信を行った。また、市のインスタグラムでも秘書広報課により図書館の情報を紹介した。

☆中高生向けに電子図書館の利用についての図書館だよりの号外を作成・発行し、SNS等で周知したほか市内中学校5校と袖ヶ浦高校への配布及び掲示依頼を行った。（再掲）

☆ホームページに掲載しているパスファインダーについて、今まではPDFファイルのみの掲載だったが、すぐに関連本の予約ができるように関連本の所蔵一覧を新たに作成しリンクを表示させた。また、読書普及事業の実施状況についてもフォトニュースやX（旧ツイッター）を通じて積極的にPRした。

★多くの市民に周知が図れるようJR袖ヶ浦駅、JR長浦駅、市役所に設置している市政情報モニターに、秋のトショロ月間と電子図書館についての案内を映した。

★減少している長浦おかのうえ図書館の児童書の利用を増やすため、新たに長浦おかのうえ図書館の子ども向けイベントや本を紹介する『おかのうえ通信』を作成・発行し、長浦地区の幼稚園及び造成等により新たな住民が増えている近隣3自治会に年2回配布した。

参 考 指 標	前期計画 目標値(R7)	R5 実績値	達成度
⑱学校図書館への年間貸出図書冊数	3,500冊	5,545冊	◎
⑳学校との連携による図書館内掲示や催し物の年間事業数	7回	8回	◎
㉑公民館・博物館等関係機関と連携した年間事業数	7件	16件	◎
㉒図書館ボランティア研修会等の年間実施回数	25回	25回	◎

成果・効果

- ・学校への図書貸出について一部開架資料の貸出を開始したこと、学校のニーズに的確に応えたことなどにより貸出の増加につなげることができた。
- ・児童生徒の作品展示やPOPについて学校に積極的に周知を図ってきたことにより、これまで申込みの無かった学校から作品展示の申込みがあるなど新たに3校と連携することができた。
- ・公民館や郷土博物館と連携した取組を推進し、互いの事業を充実させることができた。
- ・図書館ボランティアや社会教育推進員との協働により、図書館の運営や読書普及事業の内容を充実させることができた。特にブックスタートボランティアについては養成講座修了生が新たにボランティア登録をして活動を開始した。
- ・図書館ホームページ上で様々なコンテンツを更新・新規作成したほか、メールマガジンだけでなくX（旧ツイッター）も積極的に配信するなど、図書館からの情報発信を充実させることができた。また、市の公式LINEやインスタグラムも活用し幅広く発信した。

課題

- ・X（旧ツイッター）を活用し情報発信を行っているが、Xの仕様変更によりホームページのトップページに設置したタイムラインウィジェットに投稿が表示されず、図書館からの情報発信に影響が生じている。

今後の対応

- ・図書館システム更新において、見やすさや使いやすさに留意し、情報発信能力を向上させたホームページの作成を目指す。
- ・社会教育施設の事業への資料提供や市役所各課からのレファレンス受付等、関係機関との連携をより一層推進する。

図書館協議会の意見

- ・長浦おかのうえ図書館の開架資料も図書流通システムで貸出されるようになりましたが、開架資料と書庫資料の判別がつきにくく学校での取り扱いに苦慮しています。また、開架資料の取り扱いに気を使う必要があり、校内での貸出を控えています。学校で利用しやすくなるように利用方法の変更などの対応を望みます
- ・図書館では多くのボランティアが活動されています。ボランティア全体に光をあて、成果の発表の場や活動について紹介していくことも重要だと考えます。
- ・郷土博物館や市民会館の事業等、他事業や他課との連携が活性化、多様化しています。互いの課が協業することのメリットを認知し合い、相乗的な効果と市民にとって学びの進化につながることを期待します。
- ・様々な媒体による広報活動の取組を評価します。しかし、媒体には媒体の特性があるため、その特性を生かしたメッセージの発信についても注意していただきたいと思います。

議題（２）平川図書館の閉館時間について

令和５年度 閉館2時間前、1時間前の入館者数（平川図書館） 【単位：人】 開館日数：299日

上半期：17:00～18:00/ 4.1人, 18:00～19:00/ 2.0人												下半期：16:00～17:00/ 3.6人, 17:00～18:00/ 2.6人													
		2023.04	2023.05	2023.06	2023.07	2023.08	2023.09	2023.10	2023.11	2023.12	2024.01	2024.02	2024.03												
開館		25日	25日	25日	26日	26日	26日	26日	25日	23日	23日	23日	26日												
時間		17-18	18-19	17-18	18-19	17-18	18-19	17-18	18-19	17-18	18-19	16-17	17-18	16-17	17-18	16-17	17-18	16-17	17-18	16-17	17-18				
累計		98	34	104	55	97	34	122	77	121	56	82	46	98	67	98	59	95	65	73	57	67	64	88	64
平均		3.9	1.4	4.2	2.2	3.9	1.4	4.7	3.0	4.7	2.2	3.2	1.8	3.8	2.6	3.9	2.4	4.1	2.8	3.2	2.5	2.9	2.8	3.4	2.5

令和４年度 閉館2時間前、1時間前の入館者数（平川図書館） 【単位：人】 開館日数：297日

上半期：17:00～18:00/ 3.0人, 18:00～19:00/ 1.6人												下半期：16:00～17:00/ 4.2人, 17:00～18:00/ 2.9人													
		2022.04	2022.05	2022.06	2022.07	2022.08	2022.09	2022.10	2022.11	2022.12	2023.01	2023.02	2023.03												
開館		25日	25日	25日	27日	25日	26日	26日	25日	23日	23日	21日	26日												
時間		17-18	18-19	17-18	18-19	17-18	18-19	17-18	18-19	17-18	18-19	16-17	17-18	16-17	17-18	16-17	17-18	16-17	17-18	16-17	17-18				
累計		58	30	65	43	69	49	83	38	107	43	74	36	91	79	115	49	111	76	85	62	91	71	106	86
平均		2.3	1.2	2.6	1.7	2.8	2.0	3.1	1.4	4.3	1.7	2.8	1.4	3.5	3.0	4.6	2.0	4.8	3.3	3.7	2.7	4.3	3.4	4.1	3.3

令和３年度 閉館2時間前、1時間前の入館者数（平川図書館） 【単位：人】 開館日数：298日

上半期：17:00～18:00/ 2.3人, 18:00～19:00/ 0.7人												下半期：16:00～17:00/ 3.3人, 17:00～18:00/ 2.6人													
		2021.04	2021.05	2021.06	2021.07	2021.08	2021.09	2021.10	2021.11	2021.12	2022.01	2022.02	2023.03												
開館		25日	26日	25日	26日	26日	26日	26日	24日	23日	23日	21日	27日												
時間		17-18	18-19	17-18	18-19	17-18	18-19	17-18	18-19	17-18	18-19	16-17	17-18	16-17	17-18	16-17	17-18	16-17	17-18	16-17	17-18				
累計		34	8	52	12	61	18	68	20	84	30	56	27	107	55	83	66	82	58	72	73	62	55	76	69
平均		1.4	0.3	2.0	0.5	2.4	0.7	2.6	0.8	3.2	1.2	2.2	1.0	4.1	2.1	3.5	2.8	3.6	2.5	3.1	3.2	3.0	2.6	2.8	2.6

現在、各図書館の開館時間は以下のとおりです。

- ・中央図書館・長浦おかのうえ図書館・平川図書館
 … 4月～9月 9:30～19:00 10月～3月 9:30～18:00
- ・根形公民館図書室・平岡公民館図書室
 … 1年を通して 9:30～17:00

上記の表のとおり、平川図書館の閉館2時間前、1時間前の入館者数が少ない状況です。
 平均すると3～4人程度 ※中央、長浦図書館は平均20～30人ほどです。（概算）

平川図書館の17:00以降の来館者数が少ないこと、別の時間帯・場所での図書館利用が可能なことを考慮すると、閉館時間を早めても、図書館サービスの低下は非常に少ないと思われます。

公共施設である図書館にかかる費用の節約を図ることは必要な事項であり、限られた費用で、「図書館の利用を通じて学習し、情報を入手し、文化的な生活を営むことができる。」という図書館の役割・体制を維持する目的で、平川図書館の閉館時間を17:00とすることを検討しています。

<平川図書館の閉館時間を17：00とすることについて>

- 前述のとおり、17：00以降の来館者数の少なさを考慮すると、平川図書館の閉館時間を17：00とすることでの、図書館サービスの低下は非常に少ないと思われます。
- 17：00以降の来館者は、比較的固定客となっていますが、勤務等でこの時間帯のみ来館可能な方は少ないと思われ、平川図書館の閉館時間が17：00となった場合でも、別時間で対応していただくことは可能と思われます。
- 図書の貸出については、図書館ホームページからの予約が24時間可能で、予約本の取り置きは1週間可能です。予約本の受け取りは全館で可能なため、平川図書館17：00以降の時間帯でなくとも、図書館サービスを十分に受けることができます。
- 図書の返却については、各館に設置しているブックポストへの返却が、図書館閉館時間帯で可能ですので、閉館時間の変更による図書館サービスの低下はないと思われます。
- 図書やインターネットの閲覧のみの図書館利用者は、ほとんどが17：00より前から入館しているため、閉館時間が17：00となっても影響は少ないと思われます。
- 閉館時間の変更は、図書館会計年度任用職員、交流センター管理人などの勤務時間に影響します。平川図書館が開館していない場合は、17：00で交流センター全体を終了とできることも多いため、図書館、交流センター両方での勤務時間短縮となります。
- 平川交流センター（平川図書館）の光熱水費に影響します。
17：00で交流センター全体を終了となると、その分光熱水費の節減につながります。
- 17：00～19：00の時間帯は、平川交流センターの3階まで上がってくる方が非常に少なく、特に夜暗くなると、女性の会計年度任用職員のみで滞在している場合、不審者が来館した際の対応が困難です。

報告事項（２）令和６年度こどもの読書週間記念行事の実施結果について

1 目的

「こどもの読書週間」（４月２３日～５月１２日）の前後に、貸出冊数の拡大とスタンプラリー、おすすめ図書リストの配布やおすすめ図書の展示、おはなし会、子ども映画会などの各種行事を全館で実施し、家庭における読書活動の充実を推進する。

2 期間及び内容

(1) 貸出冊数の拡大（全館） ４月１３日（土）～５月１９日（日）

貸出冊数の上限を、通常の一入１５冊から２０冊に拡大する。

(2) スタンプラリー（全館）

スタンプラリー台紙配布：４月 ２日（土）～５月１９日（日）

スタンプ押印：４月１３日（土）～５月１９日（日）

図書館の本をカウンターに返却した子ども（対象：０歳～小学生）に対して、返却した冊数分のスタンプを専用の台紙に押し、スタンプ２０個ごとに記念品をプレゼントする。また、期間内の館内おはなし会等の参加についても、１回につきスタンプを１個、根形・平岡図書室は職員のいる日に来室するとスタンプを１個押す。記念品は、スタンプ２０個でトショロのメモ帳、４０個でトショロのメッセージボードを贈呈。

【景品】
メモ帳と
メッセージボード



【台紙】
トショロと
千葉県一周！

(3) おすすめ図書リストの配布（全館） ４月１３日（土）～５月１９日（日）

親子で楽しめる絵本、読み継がれてきた本、読み聞かせて面白い物語など、図書館で作成したおすすめ図書のリストを配布する。

(4) おすすめ図書の展示（全館） ４月１３日（土）～５月１９日（日）

リストに掲載している絵本など、親子での読書におすすめの児童書を展示して紹介する。

(5) おはなし会（中央・長浦）※４歳～小学生向け

中央図書館：５月１９日（日）

長浦おかのうえ図書館：４月１４日（日）

(6) えほんのひろば (中央・長浦) ※3歳～小学生向け

中央図書館：4月20日 (土)

長浦おかのうえ図書館：5月12日 (日)

(7) 子ども映画会 (中央) ※3歳～小学生向け

長浦おかのうえ図書館：5月12日 (日)

(8) おひざにだっこのおはなし会 (平川) ※0歳～3歳向け

平川図書館：5月9日 (木)

(9) 展示クイズ (中央・長浦・平川)

4月13日 (土)～5月19日 (日)

中央図書館・長浦おかのうえ図書館・平川図書館のそれぞれの館の展示を見て、関連クイズの答えを回答用紙に書いてカウンターに持っていくとスタンプを1個押す。台紙1枚につき、1回参加できる。

3 実績

行事名	日時または 期間	配布数・参加者数
スタンプラリー台紙 の配布	4/2～5/19	① 中央 454 枚 ② 長浦 383 枚 ③ 平川 83 枚 ④ 根形 24 枚 ⑤ 平岡 28 枚 全館合計 972 枚
記念品のプレゼント	4/13～5/19 スタンプ 20 個:メモ帳 40 個:メッセージ ボード	① 中央 メモ 169 個、ボード 67 個 ② 長浦 メモ 118 個、ボード 45 個 ③ 平川 メモ 35 個、ボード 13 個 ④ 根形 メモ 4 個、ボード 7 個 ⑤ 平岡 メモ 13 個、ボード 9 個 全館合計 メモ 339 個、ボード 141 個 (プレゼント合計 480 個)
おはなし会	①5/19 ②4/14	①中央(2回) 14 人 ②長浦(1回) 10 人 合計 24 人
えほんのひろば	①4/20 ②5/12	①中央(2回) 18 人 ②長浦(2回) 17 人 合計 35 人
子ども映画会	5/12	長浦 13 人
おひざにだっこの おはなし会	5/9	平川(1回) 5 人
展示クイズ	4/13～5/19	①中央 145 人 ②長浦 97 人 ③平川 66 人 合計 308 人

4 前回との比較

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
スタンプラリー台紙の配布人数（参加者数）	1,064 人	1,045 人	972 人
記念品の受け渡し人数	568 人	536 人	480 人
実施期間	4/16～5/22 (31 日間)	4/15～5/21 (31 日間)	4/13～5/19 (33 日間)
実施期間中の児童書貸出冊数	22,063 冊 (31 日間)	22,870 冊 (31 日間)	20,342 冊 (33 日間)
1日当たりの児童書貸出冊数	712 冊	738 冊	616 冊

5 総括

今年度も「こどもの読書週間」を含む4月13日から5月19日までの33日間の期間で実施した。4月2日から先行してスタンプラリーの台紙を配布し貸出カウンターで声掛けを行い、効果的に周知できた。

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、今年度の大型連休は、図書館以外への外出機会が増えたためか例年より利用者が少なかった。それでも多くの子どもたちがたくさん本を借りて、記念品を受け取ってもらうことができた。記念品はトショロのメモ帳とトショロのメッセージボードで、幼児のみならず小学生も意欲的に参加する姿が見られた。また、おはなし会やえほんのひろば、子ども映画会、展示クイズでは、家族で参加する様子も多く見られ、スタンプラリーとの相乗効果も得られた。

また、昨年度より公民館図書室の利用促進も兼ねて、根形・平岡図書室の職員が在室する日に来室するとスタンプラリーのスタンプを1個押すこととした。

1日当たりの児童書の貸出冊数は、昨年度より減少したが、子どもの読書意欲を喚起する一定の成果が得られた。来年度以降もスタンプラリーを軸に、効果的な実施内容を考えたい。



別綴じ参考資料

議題（１）令和５年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価について
(第２回)

○袖ヶ浦市第４次図書館サービス網計画指標 年度別実績	１
○令和５年度図書館事業の実施報告	３
○令和５年度図書館事業一覧	６
○令和５年度図書館利用状況	９
(１) 貸出点数	
(２) 利用者数等	
(３) 図書分類別蔵書冊数	
(４) 令和５年度ベストリーダー１０	
(５) 令和５年度予約ベスト１０	
(６) 令和５年度蔵書点検結果	
(７) 令和５年度長期延滞資料督促実績	
○県内主要図書館の利用状況推移	１２
○公共図書館統計(市区町村立図書館)	１２
○県内公立図書館サービス指標(令和４年度)	１３

袖ヶ浦市第4次図書館サービス網計画指標 年度別実績〔目標年度：令和7年度〕

		市人口	63,704	64,519	65,075	65,415	65,777	66,041	65,000
内容	サービス評価指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R04年度	R05年度	R7年度	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	目標値	
(1) 資料及び情報の収集、提供等	① 市民一人当たりの所蔵図書冊数(冊)	11.0	10.9	10.9	10.9	10.9	11.0	11.3	
	② 袖ヶ浦市関係郷土行政資料の年間受入冊数(冊/年)	392	271	314	377	345	306	300	
	③ 年間個人貸出利用者数(人)	148,243	140,856	77,507	119,228	127,647	125,284	149,000	
	④ 年間個人貸出資料点数(点)	548,560	527,781	331,988	503,871	531,779	500,670	550,000	
	⑤ 市民一人当たりの年間個人貸出資料点数(点)	8.6	8.2	5.1	7.7	8.1	7.6	8.5	
	⑥ 年間市民新規登録者数(人)	1,165	1,227	536	1,051	1,181	1,135	1,400	
	⑦ 市民登録率(%)	42.5	41.5	39.6	38.5	38.0	37.1	42	
	⑧ 年間リクエスト処理件数(件)☆	53,345	53,815	52,485	65,604	68,269	68,582	55,000	
	⑨ 年間レファレンス処理件数(件)	1,139	1,024	417	656	936	1,394	1,200	
	⑩ 一か月当たりのウェブ予約受付件数(件)	2,756.4	2,851.8	3,262.3	4,070.0	4,277.3	4,328.5	4,000	
	⑪ 来館者満足度(%)	78.2	/	77.7	/	74.0	/	80	

内容	参考指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R04年度	R05年度	R7年度
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	目標値
(2) 利用者に応じたサービス	⑫ ブックスタートの年間配布率(%)	82.7	82.1	33.6	50.5	52.0	72.8	80
	⑬ こどもの読書週間記念行事の参加者数(人)☆	901	985	850	861	1,064	1,045	900
	⑭ おはなし会の年間実施回数(回)☆	509	480	155	267	449	474	480
	⑮ 子ども向けお薦め本リストの年間発行回数(回)☆	6	6	8	8	8	7	6
	⑯ 成人向けお薦め本コーナーの年間企画数(件)☆	11	11	14	20	30	49	12
	⑰ 大活字本の年間貸出冊数(冊)	4,123	3,863	2,553	3,916	4,619	4,360	4,000
	⑱ 宅配による年間貸出点数資料(点)	359	271	167	116	123	141	330
学習機会(3)多様な提供	⑲ 学校図書館への年間貸出図書冊数(冊)	2,368	3,166	2,087	2,803	3,685	5,545	3,500
	⑳ 学校との連携による図書館内掲示や催し物の年間事業数(回)☆	7	7	12	11	8	8	7
	㉑ 公民館・博物館等関係機関と連携した年間事業数(件)☆	9	6	3	11	15	16	7
	㉒ 図書館ボランティア研修会等の年間実施回数(回)	29	20	13	27	28	25	25

内容	サービス評価指標	R5達成率 (R5実績 /目標値)	<参考> R4達成率 (R4実績 /目標値)	備考
(1) 資料及び情報の収集、提供等	① 市民一人当たりの所蔵図書冊数(冊)	97.2%	96.9%	年度末の所蔵図書冊数÷市人口
	② 袖ヶ浦市関係郷土行政資料の年間受入冊数(冊/年)	102.0%	115.0%	紙媒体だけでなく、図書館で保存したPDFファイル等の電子資料を含む
	③ 年間個人貸出利用者数(人)	84.1%	85.7%	個人利用者の延べ貸出利用人数(市外利用者を含む)
	④ 年間個人貸出資料点数(点)	91.0%	96.7%	個人利用者の雑誌・視聴覚資料を含む総貸出資料点数(市外利用者を含む)
	⑤ 市民一人当たりの年間個人貸出資料点数(点)	89.2%	95.1%	年間個人貸出資料点数÷市人口
	⑥ 年間市民新規登録者数(人)	81.1%	84.4%	市民登録者は市内在住者のみで、在勤・在学者を含まない
	⑦ 市民登録率(%)	88.3%	90.5%	市民登録者は市内在住者のみで、在勤・在学者を含まない。本市では10年間未利用の登録者は除籍
	⑧ 年間リクエスト処理件数(件)☆	124.7%	124.1%	未所蔵資料のリクエスト処理件数、所蔵資料の予約処理件数の合計
	⑨ 年間レファレンス処理件数(件)	116.2%	78.0%	レファラルサービス、クイックレファレンスを含む件数
	⑩ 一か月当たりのウェブ予約受付件数(件)	108.2%	106.9%	日常的な来館が困難な市民でも利用できるサービスの指標
	⑪ 来館者満足度(%)		92.5%	隔年で実施する利用者アンケートにおいて設問する

内容		R5達成率 (R5実績 /目標値)	<参考> R4達成率 (R4実績 /目標値)	備考
(2) 利用者に応じたサービス	⑫ ブックスタートの年間配布率(%)	91.0%	65.0%	配布数÷対象人数(市内在住の4か月児)
	⑬ こどもの読書週間記念行事の参加者数(人)☆	116.1%	118.2%	こどもの読書週間の前後に行う各種記念行事の参加者数合計
	⑭ おはなし会の年間実施回数(回)☆	98.8%	93.5%	対象年齢別に実施する図書館内での各種おはなし会、学校や保育所等への出張おはなし会の実施回数合計
	⑮ 子ども向けお薦め本リストの年間発行回数(回)☆	116.7%	133.3%	乳幼児向けから高校生まで年代別におすすめ図書リストを作成し、学校や保育所等へ配布する
	⑯ 成人向けお薦め本コーナーの年間企画数(件)☆	408.3%	250.0%	特設コーナーや秋のトシヨロ月間、その他成人向けに館内で実施したお薦め本コーナーの企画数の合計
	⑰ 大活字本の年間貸出冊数(冊)	109.0%	115.5%	大活字本の年間個人貸出冊数合計
	⑱ 宅配による年間貸出点数資料(点)	42.7%	37.3%	障がい者等への宅配サービスによる年間貸出資料点数合計(デジター図書の貸出を含む)
	学習機会の提供(3) 多様な	⑲ 学校図書館への年間貸出図書冊数(冊)	158.4%	105.3%
⑳ 学校との連携による図書館内掲示や催し物の年間事業数(回)☆		114.3%	114.3%	授業や部活動の成果を発表する場として、図書館を活用してもらう。児童生徒が選んだおすすめ図書の展示、高校生とコラボでのおはなし会等
㉑ 公民館・博物館等関係機関と連携した年間事業数(件)☆		228.6%	214.3%	公民館の講座への講師派遣や資料提供、博物館と連携した資料展示等を実施する
㉒ 図書館ボランティア研修会等の年間実施回数(回)		112.0%	112.0%	図書館ボランティア(社会教育推進員を含む)の会議・打ち合わせ、新規募集の説明会、養成講座、スキルアップ講座等の実施回数

令和5年度図書館事業の実施報告

① 事業の総括

図書館では、令和5年度経営方針に基づき、市民の多種多様、高度化する学習要求に応えるための条件整備を図り、「いつでも、どこでも、誰でも、どんな資料でも」利用できる、市民に親しまれる図書館運営に努めるとともに、「市民の書斎として、思索の場として、そして市民のふれあいの場として」さらに充実した図書館づくりを目指し、3つの重点施策を推進しました。

② 重点施策に対する事業の成果

(1) 図書館資料の充実

- ・新刊図書の購入に加えて、郷土行政資料の寄贈を積極的に呼びかけたことにより、開架書架の図書311,280冊に対して10,775冊（うち購入10,074冊）を受入し、約3.5%更新しました。新聞、雑誌等の逐次刊行物、CD、DVD等の視聴覚資料及び調査研究用のマイクロフィルムやデータベースについて、継続的な収集と提供に努めました。また加入している視覚障がい者用のデータベースを活用し、図書館利用に障害のある人が利用しやすい資料を提供しました。
- ・電子図書館についての積極的な周知及びコンテンツの数と質の充実を図り、利用人数、貸出冊数が令和4年度より大幅に増加しました。
- ・予約・リクエスト資料をより早く多くの利用者に提供するため、1月から資料の取り置き期間を2週間から1週間に変更しました。
- ・公民館図書室に講座等公民館事業の関連図書を紹介するミニ特設コーナーを新たに設置し、公民館利用者の関心が高い資料の紹介に努めました。
- ・市の電子申請システムを利用し、マイナンバーカードを使い図書館の利用申込を来館せず行えるようにしたことにより、来館が難しい人でも利用申込を可能としました。
- ・図書館を直接利用しない市民にも図書館の資料を広く提供するため、団体貸出サービスについて、市内デイサービス提供事業者へ利用案内を送付して周知を図りました。
- ・パスファインダー（調べ方案内）を大人向けと児童向けにそれぞれ作成し、図書館のホームページに掲載したほか、大人向けパスファインダーのページに掲載資料一覧の図書リンクを併せて表示しました。紙の資料は全館で配布し、テーマに合わせ、健康推進課や高齢者支援課等関係機関にも配布して活用を図りました。
- ・中央図書館児童カウンターへの職員配置を再開するとともに、職員や委託スタッフの名札に「本探しお手伝いします。お気軽にお声がけく

ださい。」と表示し、夏休み期間中に宿題応援の案内掲示を行うなど、利用者がより相談しやすい環境を創出し、レファレンス処理件数が令和4年度より大幅に増加しました。

(2) 利用者に応じたサービス

①乳幼児と保護者に対するサービス

- ・0歳からの乳幼児を対象に「すきすき絵本タイム」を公民館図書室で開催しました。
- ・「図書館でブックスタート」の会場を中央図書館2階から1階児童室に変更し、参加者の負担軽減を図りました。また、ブックスタートボランティア養成講座を実施しました。
- ・0歳からの「おひぎにだっこのおはなし会」、3歳以上の児童を対象とする「えほんのひろば」を、それぞれ令和4年度より開催回数を増やし中央図書館、長浦おかのうえ図書館、平川図書館で開催しました。また、おはなし会ボランティアスキルアップ講座でわらべうたの演習を行い、乳幼児向けおはなし会のボランティア増員を図りました。

②児童・青少年に対するサービス

- ・袖ヶ浦高校の希望する生徒及び教職員を対象に、袖ヶ浦市立図書館と袖ヶ浦市電子図書館の利用講座を実施しました。
- ・中高生向けに袖ヶ浦市立図書館と袖ヶ浦市電子図書館の利用についての図書館だより号外を発行し、SNSで周知したほか、市内中学校5校と袖ヶ浦高校に掲示と配布を依頼しました。

③成人に対するサービス

- ・成人向け講座「そろそろ始める 団塊ジュニアのための老後資金計画」を開催し、現役世代の参加が多数ありました。また、関連図書の展示・貸出を行いました。

④高齢者に対するサービス

- ・高齢者が利用しやすい資料として、大活字本や朗読CDを購入し、WebOPACの「図書館おすすめ」に掲載の「大活字本リスト」を更新し、資料の紹介に努めました。

⑤図書館利用に障がいのある人に対するサービス

- ・加齢による身体の虚弱等により自力来館が難しいなど、袖ヶ浦市立図書館管理運営規則に定める宅配サービスの要件に該当しない来館困難者への宅配について、利用要件を新たに定め、試行実施しました。
- ・学習障がい等により読みに苦手さのある子どもへの図書流通システ

ムを通じた読書支援サービスについて、小中学校の教員にサピエ図書館やデイジー図書の案内を作成し周知を図りました。

⑥多文化サービス

- ・夏のトショロ月間の中で「英語でおはなし会！」を2回開催し、あわせて、会場に洋書絵本を展示し、外国語資料の紹介に努めました。
- ・長浦おかのうえ図書館、平川図書館、根形・平岡公民館図書室で外国語の絵本を日本語訳の絵本と並べて紹介展示し、貸出の機会を設けました。

(3) 多様な学習機会の提供

- ・秘書広報課が実施した夏休みこども向け市内周遊型謎解きイベントにおいて、長浦おかのうえ図書館がチェックポイントとして協力したことで、親子連れなどが多数来館しました。
- ・秋のトショロ月間では図書館登録サークルによる成果発表の場を設け、俳句・短歌作品や人形劇の人形作品等の展示をするとともに、「大人のためのお話し会」や朗読発表会を実施し、サークル活動の活性化を図りました。併せて図書館で所蔵する関連図書の紹介も行いました。
- ・袖ヶ浦市立図書館と袖ヶ浦市電子図書館の利用者増を目指して広報そでがうらやインターネットを使った各種案内のほかに JR 駅通路や市役所の証明待合席の市政情報モニターで電子図書館の案内画面を発信し周知しました。

令和5年度図書館事業一覧

No.	事業名	実施期日・回数等	参加人数等	決算額 (千円)
1	図書館協議会関係事業	7月24日 10月13日（視察研修） 2月5日	委員 10人 4人 7人	137
2	図書館運営事務事業	開館日数 中央・長浦 289日 平川 299日 根形・平岡 300日 団体貸出 貸出点数計	利用者数 125,284人 貸出点数 500,670点 延べ利用数 382団体 貸出冊数 6,921冊 507,591点	64,679
3	図書館資料購入事業 ・ 図書 ・ 視聴覚資料 ・ マイクロフィルム ・ DVD-ROM ・ 新聞・雑誌 ・ データベース	通年 中央 長浦 平川 根形 平岡 計 ・ CD ・ DVD 計 計 ・ 新聞 ・ 雑誌 ・ 官報 ・ 法律情報	市全域 4,207冊 4,252冊 1,156冊 229冊 230冊 計 10,074冊 75点 6点 計 81点 8巻 13点 21点 購入数 25紙 154誌	24,324
4	電算処理事業 ・ 電算システム ・ データベース	通年 ・ 図書館業務用システム一式 ・ ホームページ ・ 新聞記事 ・ TOOL i	 2紙	14,424

No.	事業名	実施期日・回数等	参加人数等	決算額 (千円)
5	読書普及事業			659
	・こどもの読書週間記念行事	・スタンプラリー ・記念品プレゼント ・ラウンジ展示クイズ 4月15日～5月21日	1,045 人 536 個 276 人	
	・定例おはなし会	中央 11 回 長浦 11 回 平川 3 回	115 人 73 人 18 人	
	・ちょっぴりながいおはなし会	中央 2 回	30 人	
	・ちょっぴりこわいおはなし会	長浦 2 回	59 人	
	・英語でおはなし会	中央 2 回	63 人	
	・えほんのひろば	中央 10 回 長浦 10 回 平川 5 回	133 人 81 人 53 人	
	・おひざにだっこのおはなし会	中央 8 回 長浦 4 回 平川 2 回	83 人 43 人 20 人	
	・なつやすみとしょかんであそぼう	袖高とコラボ！親子いっ しょのおはなし会 8月6日 2回 かみのおはなやさん 8月6日 1回	48 人 29 人	
	・青空かみしばい劇場	10月29日 2回	46 人	
	・春休みおはなし会	3月27日 2回	13 人	
	・昭和小来館おはなし会	6月30日 2回	68 人	
	・すきすき絵本タイム	根形 2回 平岡 2回	41 人 50 人	
	・出張おはなし会（保育所来館含む）	30箇所	10,096 人	
	・ブックスタート	通年(24回)	339 個	
	・ブックスタートボランティア養成講座	8～10月（全3回）	50 人	

No.	事業名	実施期日・回数等	参加人数等	決算額 (千円)
5	・おはなし会ボランティアスキルアップ講座	9月28日	25人	
	・新年えほんのふくぶくろ	1月5日～1月13日	126袋	
	・学校連携展示(トシヨロ月間外)	2校	119点	
	・文芸講座	11月1日～11月29日 オープニング講演 連続講座(4回)・懇談会	45人 121人	
	・電子図書館講座(袖ヶ浦高校)	11月29日	42人	
	・資料展示	通年(5回)	15人	
	・映画会	通年 中央 11回 長浦 12回 平川 5回	370人 580人 103人	
	・夏のトシヨロ月間	7月14日～8月15日	966人	
	・秋のトシヨロ月間	10月21日～11月19日	2,422人	
	・本・雑誌リユース・デー	3月6日～7日 3月10日	26団体 256人	
6	電子図書館サービス事業 ・電子図書館	電子書籍	購入数 239冊 利用者数 752人 貸出冊数 2,269冊	1,592

令和5年度図書館利用状況

(1)貸出点数

開館日数 中央・長浦289日、平川299日、根形・平岡300日

	中央	長浦	平川	根形	平岡	合計
一般書	127,083	121,517	23,089	7,596	4,910	284,195
児童書	98,278	64,164	12,485	3,039	2,242	180,208
雑誌	10,262	9,596	1,705	1,842	257	23,662
視聴覚	4,342	6,223	1,436	56	548	12,605
個人合計	239,965	201,500	38,715	12,533	7,957	500,670
団体貸出						6,921
貸出総数						507,591点

(2)利用者数等

袖ヶ浦市人口(令和6年3月31日現在) 66,041人

中央	61,424人	市民1人当たりの貸出点数				7.58点
長浦	48,046人	登録者総数				33,594人
平川	9,825人	市民登録率(登録者数 24,503人)				37.1%
根形	3,770人	予約・リクエスト処理点数				68,582点
平岡	2,219人	うち、未所蔵 5,705冊(購入 2,306冊・他館借用 3,399冊)				
		レファレンス処理件数				1,394件
		資料複写件数				707件 3,647枚
		電子図書館貸出冊数(所蔵 531冊)				752人 2,269冊
		ホームページアクセス件数				144,312件
個人合計	125,284人	映画会参加者数	中央 11回 370人	長浦 12回 580人	平川 5回 103人	
団体貸出	延べ 382団体	おはなし会参加者数(図書館)				78回 946人
		" (出張)				396回 10,096人
		障がい者への宅配による資料貸出				13回 141冊

(3)図書分類別蔵書冊数

(令和6年3月31日現在)

	一般書	児童書	合計
総記	21,325	1,836	23,161
哲学	18,659	795	19,454
歴史	52,623	5,580	58,203
社会科学	93,990	5,458	99,448
自然科学	38,563	15,491	54,054
工学	58,193	5,401	63,594
産業	22,824	3,304	26,128
芸術	50,127	6,058	56,185
語学	9,318	1,067	10,385
文学	191,088	48,259	239,347
絵本	—	73,459	73,459
紙芝居	—	1,665	1,665
合計	556,710	168,373	725,083

図書以外の資料

雑誌	21,493冊
カセットテープ	1,984点
レコード	291点
コンパクトディスク	10,455点
ビデオテープ	3,780点
レーザーディスク	1,276点
DVD・DVD-ROM	1,542点
マイクロフィルム	1,509巻
地図	1,832点
合計	44,162点

資料総合計 769,245点
(市民1人当たり 11.6点)

(4) 令和5年度ベストリーダー10

一般書

順位	書名	著者	貸出回数	複本数
1	魔女と過ごした七日間	東野 圭吾／著	120	7
2	汝、星のごとく	凧良 ゆう／著	112	5
3	ハヤブサ消防団	池井戸 潤／著	107	6
4	教誨	柚月 裕子／著	106	5
5	署長シンドローム	今野 敏／著	102	5
6	白鳥とコウモリ	東野 圭吾／著	99	7
7	希望の糸	東野 圭吾／著	96	7
8	審議官	今野 敏／著	95	4
9	クスノキの番人	東野 圭吾／著	91	8
9	透明な螺旋	東野 圭吾／著	91	6

児童書

順位	書名	著者	貸出回数	複本数
1	しろくまちゃんのほっとけーき	わかやま けん／[え]	257	24
2	わにわにのごちそう	小風 さち／ぶん	186	20
3	はらぺこあおむし	エリック=カール／さく	184	15
4	サンドイッチサンドイッチ	小西 英子／さく	180	20
5	バムとケロのさむいあさ	島田 ゆか／作 絵	175	15
6	いちご	平山 和子／さく	174	30
7	くだもの	平山 和子／さく	170	37
8	バムとケロのにちようび	島田 ゆか／作 絵	163	14
9	バムとケロのそらのたび	島田 ゆか／作 絵	162	13
10	おべんとう	小西 英子／さく	156	16

(5) 令和5年度予約ベスト10

一般書

順位	書名	著者	貸出回数	複本数
1	あなたが誰かを殺した	東野 圭吾／著	128	6
2	魔女と過ごした七日間	東野 圭吾／著	98	7
3	くもをさがす	西 加奈子／著	93	3
4	汝、星のごとく	凧良 ゆう／著	92	5
5	風に立つ	柚月 裕子／著	85	3
6	ハンチバック	市川 沙央／著	74	5
6	レモンと殺人鬼	くわがき あゆ／著	74	2
8	可燃物	米澤 穂信／著	72	4
8	木挽町のあだ討ち	永井 紗耶子／著	72	5
10	777	伊坂 幸太郎／著	66	3
10	人間標本	湊 かなえ／著	66	4

児童書

順位	書名	著者	貸出回数	複本数
1	大ピンチずかん	鈴木 のりたけ／作	60	5
2	大ピンチずかん 2	鈴木 のりたけ／作	40	5
3	ぼくはいつたどこにいるんだ	ヨシタケ シンスケ／作	37	1
4	パンどろぼう おにぎりぼうやのたびだち	柴田 ケイコ／作	31	1
5	とうきょうの電車大百科	「旅と鉄道」編集部／編	29	1
5	パンどろぼうとほっかほっカー	柴田 ケイコ／作	29	1
7	のりもの2000	小賀野 実／監修・写真	27	5
8	鉄道	海老原 美宜男／監修	25	2
8	パンどろぼうとなぞのフランスパン	柴田 ケイコ／作	25	1
8	まちの電車大百科	「旅と鉄道」編集部／編	25	1

(6) 令和5年度蔵書点検結果

令和6年3月31日現在

中央	蔵書点数	不明資料	点検不明年度内訳				
		累計	R05～	R04～	R03～	R02～	R01～
①	320,343点	369点	185点	9点	14点	52点	109点
	不明比率	0.12%	0.058%	0.003%	0.00%	0.02%	0.03%

長浦	蔵書点数	不明資料	点検不明年度内訳				
		累計	R05～	R04～	R03～	R02～	R01～
②	364,864点	219点	96	23	6	15	79
	不明比率	0.06%	0.03%	0.006%	0.002%	0.00%	0.02%

平川	蔵書点数	不明資料	点検不明年度内訳				
		累計	R05～	R04～	R03～	R02～	R01～
③	47,114点	58点	13	19	0	8	18
	不明比率	0.12%	0.03%	0.04%	0.00%	0.02%	0.04%

根形	蔵書点数	不明資料	点検不明年度内訳				
		累計	R05～	R04～	R03～	R02～	R01～
④	16,307点	17点	0	1	4	6	6
	不明比率	0.10%	0.00%	0.01%	0.02%	0.04%	0.04%

平岡	蔵書点数	不明資料	点検不明年度内訳				
		累計	R05～	R04～	R03～	R02～	R01～
⑤	16,079点	13点	2	4	0	5	2
	不明比率	0.08%	0.01%	0.02%	0.00%	0.03%	0.01%

学校用	蔵書点数	不明資料	点検不明年度内訳				
		累計	R05～	R04～	R03～	R02～	R01～
⑥	4,538点	2点	0	0	2	0	0
	不明比率	0.04%	0.00%	0.00%	0.04%	0.00%	0.00%

合計	蔵書点数	不明資料	点検不明年度内訳				
		累計	R05～	R04～	R03～	R02～	R01～
①～⑥計	769,245点	678点	296点	56点	26点	86点	214点
	不明比率	0.09%	0.04%	0.007%	0.00%	0.01%	0.03%

※蔵書点数(在架資料点数)は、除籍予定の資料を含まないで算出。

※点検不明年度から5年を経過した資料は、6年目に除籍。(令和5年度実績120点)

(7) 令和5年度長期延滞資料督促実績 (R04.12.1～R05.11.30までの返却期限者)

年間実績	累計		
a 督促電話人数	403人		
b 電話による返却人数	290人	電話による返却率	b/a
c 督促ハガキ送付人数	113人		72.0%

年度末(3月・蔵書点検後)	対象: R4.10.1～R5.9.30返却期限の延滞者
d 督促ハガキ送付人数	35
e 督促対象資料点数	92

県内主要図書館の利用状況推移

「千葉県の図書館2023」(千葉県公共図書館協会発行)より

	人口(「千葉県毎月常住人口調査月報」による)			個人貸出冊数			登録者数						登録者数は自治体内のみ
				R2年度	R3年度	R4年度	R2年度		R3年度		R4年度		
	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1				登録者数	登録率%	登録者数	登録率%	登録者数	登録率%	
袖ヶ浦	63,985	64,414	64,776	331,988	503,871	531,779	25,799	40.3	25,203	39.1	24,997	38.6	○
市原	268,053	266,493	264,977	768,651	1,221,401	1,225,205	144,599	53.9	147,563	55.4	150,202	56.7	○
木更津	135,845	135,947	136,375	228,420	350,024	245,465	83,778	61.7	85,327	62.8	86,488	63.4	市外含む
君津	81,200	80,750	79,793	346,800	411,747	253,267	27,944	34.4	28,341	35.1	24,582	30.8	市外含む
茂原	86,306	86,054	85,486	158,351	212,792	212,197	15,970	18.5	15,390	17.9	14,840	17.4	市外含む
千葉	983,211	976,925	978,064	2,804,396	3,232,023	3,061,952	226,830	23.1	220,408	22.6	216,274	22.1	○
浦安	170,194	170,008	171,155	1,268,924	1,530,561	1,509,875	31,771	18.7	33,922	20.0	34,521	20.2	○
市川	497,731	496,104	497,048	807,582	1,142,608	1,075,379	89,258	17.9	82,741	16.7	82,484	16.6	市外含む
成田	130,624	131,111	132,057	963,674	1,107,812	1,029,673	35,713	27.3	33,594	25.6	36,896	27.9	市外含む
白井	61,614	61,996	61,944	340,573	417,706	397,932	16,857	27.4	15,480	25.0	14,712	23.8	市外含む
佐倉	168,843	166,511	165,801	989,417	288,743	1,113,297	75,306	44.6	73,582	44.2	75,150	45.3	○

※貸出冊数は視聴覚資料等を含む。※登録者数は累計の数値。袖ヶ浦市では毎年10年間未利用の登録者を年度末に除籍している。

公共図書館統計(市区町村立図書館)

「図書館年鑑2023」(日本図書館協会発行)より

年度	図書館総数	専任職員数(人)	年間収集冊数(万冊)	個人貸出数(万点)	資料費決算額(億円)
2022	3,228	7,819	1,315	60,897	256.75
2021	3,239	7,941	1,398	53,101	252.38
2020	3,233	8,098	1,411	63,763	254.08
2019	3,229	8,330	1,459	66,851	258.37
2018	3,219	8,482	1,505	66,852	258.15
2017	3,215	8,691	1,532	67,421	256.62
2016	3,203	8,869	1,542	68,563	257.84
2015	3,182	8,955	1,515	67,260	254.05
2014	3,166	9,345	1,620	67,677	257.20
2013	3,168	9,583	1,641	69,267	256.81

は、過去10年間の最大値
*貸出点数は、視聴覚資料を含む
*資料費は、経常的経費

〈人口6万人以上8万人未満の市区〉		
順位	自治体名	個人貸出数(千点)
1	笠間市(茨城県)	977
2	守谷市(茨城県)	967
3	三木市(兵庫県)	781
4	京田辺市(京都府)	732
5	千代田区(東京都)	699
6	塩尻市(長野県)	682
7	多賀城市(宮城県)	612
8	みよし市(愛知県)	608
9	白河市(福島県)	564
10	福津市(福岡県)	551
19位	袖ヶ浦市(千葉県)	504
平均	113	351

袖ヶ浦市
蔵書冊数 : 1位
資料費決算額 : 15位
予約受付件数 : 20位

